

上信越高原国立公園西部地域
(名称未定)

指 定 書
及 び
公 園 計 画 書

(環境省原案)

平成 年 月 日
環 境 省

上信越高原国立公園西部地域
(名称未定)

指定書
(新規指定)

(環境省原案)

平成 年 月 日
環 境 省

目 次

| | | |
|-----|----------------|---|
| 1 | 指定理由 | 1 |
| 2 | 地域の概要 | 2 |
| (1) | 景観の特性 | 2 |
| ア | 地形、地質 | 2 |
| イ | 植生 | 2 |
| ウ | 野生生物 | 2 |
| エ | 自然現象 | 3 |
| オ | 文化景観人文その他の特殊景観 | 3 |
| (2) | 利用の現況 | 3 |
| (3) | 社会経済的背景 | 4 |
| ア | 土地所有別 | 4 |
| イ | 人口及び産業 | 4 |
| ウ | 権利制限関係 | 5 |
| 3 | 公園区域 | 8 |

1 指定理由

本地域は、新潟県、長野県の県境に位置し、妙高火山群、戸隠連峰及び雨飾山並びにその周辺の標高500mから2,400mの山岳部とそれらの裾野に広がる高原並びに野尻湖を含む地域である。

本地域は北部フォッサマグナ上に位置しており、海底に厚く堆積した新第三紀層が隆起して本地域の土台を形成している。これらの隆起した地層は、侵食を受けて削られ、火打山、雨飾山、戸隠連峰、たかつまやま高妻山などの非火山の山々を形成した。その後、富士火山帯の北端に含まれる飯縄山、黒姫山、妙高山、やけやま焼山などの火山が形成された。本地域は、このような地質的な経緯を経て、生成要因及び時期を異にした、個性的な山容を呈する山々が小面積に群集する、我が国でも傑出した山岳景観を成す地域となった。加えて、これらの山麓、山間には、妙高高原、戸隠高原、飯綱高原、雨飾高原など比較的狭い面積の高原地帯が点在し、公園利用の拠点となっている。このほか、おぼれだに湯谷地形が発達した野尻湖を始め、多くの湖沼・湿原が点在し、湖沼景観にも富んでいる。このように、比較的小さな面積の中に、多様な山岳が密集し、点在する高原、湖沼がこれと相まって一体的な自然景観を作り出しており、我が国を代表する傑出した地域となっている。

また、本地域は太平洋側気候区と日本海側気候区の境目に位置し、標高差も大きく、地形的に複雑であるため、動植物相が豊かである。植物は、トガクシショウマやミョウコウトリカブト等、日本海側要素の希少な植物種の自生が見られる。特に、妙高山から雨飾山にかけた頸城山塊を中心として、原始的な高山植生や夏緑林植生が広域に残されており、質の高い自然環境を有している。なお、本地域に生息するライチョウ（頸城山系個体群）は、国内北限の生息群として極めて重要な動物種である。

利用は、各地の高原を中心とし、夏季の自然探勝及び登山、冬季のスキー利用、通年の温泉利用が盛んで、アクセスの容易さもあり、利用性に富んでいることも本地域の特徴である。

以上より、火山性連峰やカルデラ、非火山性の孤峰、連峰といった多様な山々が小面積に密集する特有の山岳景観や堰止湖である野尻湖を風景形式とし、それと一体的な山麓部を含む自然生態系や多くの湿原等の景観要素を有する区域を、我が国を代表する傑出した景観を有する地域として国立公園に指定するものである。このため、本国立公園のテーマを「火山・非火山の結集地～大地の営みが奏でる山と湖のハーモニー」として、個性的な山容を呈す火山、非火山の山岳群集と、その山麓に点在する高原や湖沼との一体的な自然景観が特色の国立公園として、これらの自然環境の保全と、適正な利用を推進するものである。

なお、本地域は火山性連峰及び火山性高原を景観要素として、昭和31年7月10日に上信越高原国立公園妙高・戸隠地域（以下、西部地域）として編入指定された。その後、再検討及び4回の点検を経て、第5回点検を行うにあたり実施した調査において、上信越高原国立公園の東部地域とは異なる風景形式（火山と非火山が密集するなど）を有することが明らかとなった。また、利用においても、西部地域と東部地域は千曲川を挟んで東西に位置し、利用者の多くは上信越自動車道、長野道又は長野新幹線等を利用して訪れるが、両団地をまたがって利用することは多くはない。以上により西部地域と東部地域は、風景形式及び利用実態の観点から独立性・独自性が認められることから、本地域を上信越高原国立公園から分離させ、それぞれ別々の国立公園に再編成することとなったものである。

2 地域の概要

(1) 景観の特性

ア 地形、地質

本地域は、東側を千曲川、西側を姫川に挟まれた新潟県上越地方から長野県北信地方にかけての一帯で、焼山、雨飾山、妙高山、黒姫山、高妻山、戸隠山及び飯縄山といった標高 1,900 ~2,400m の山岳があり、全域が起伏の大きい山地で占められ、高標高地は急峻である。

本地域の周辺は北部フォッサマグナ地域にあたり、地質は新第三紀～第四期の堆積岩類及び安山岩等の火山岩類が広く分布している。新第三紀鮮新世以降の隆起・侵食により形成された山が非火山の戸隠、高妻山、雨飾山であり、その後、噴火活動順に、斑尾山（公園外）、飯縄山、黒姫山、妙高山、焼山という 5 つの成層火山から成る妙高火山群が形成された。

特徴的な山容を呈する火山と非火山が混在する状況は、この地域の山岳景観の大きな特色となっている。非火山において戸隠連峰は、凝灰角礫岩の侵食岩壁が連続している点で、類例の少ない独特の景観を有している。火山においては、飯縄山、黒姫山、妙高山が南北一直線に並ぶ火山列となっており、他には見られない特有の山岳景観を形成している。これらは、成層火山として裾野の広い美しい山体を留めているが、特に妙高山は標識的な複式火山であり、前山、赤倉山などの外輪山と妙高山本体である中央火口丘により傑出した山容を呈している。

さらに、野尻湖は黒姫山の火山活動により渓谷が堰き止められてできた堰止め湖であり、溺谷地形が発達し、湖中の琵琶島とともに景観の複雑化を呈し、優れた湖水景観を保持している。

イ 植生

本地域は、日本海側気候区と太平洋側気候区の境目部分にあたり、標高差も大きく、地形的に複雑である等の理由により、植物相が豊かである。植生は日本海側気候の影響をやや強く受けており、トガクシショウマやミョウコウトリカブトなど貴重な植物種が自生している。また、山岳部の頂上付近では、日本海側の多雪気候に影響を受けた偽高山帯の植生も見られ、高標高地には自然性の高い高山低木群落（ハイマツ）や雪田草原などの植生が、その下部にはシラビソ、コメツガ等の針葉樹林等が、いずれも比較的狭い垂直幅で分布している。山地帯には各所にブナ自然林が分布するほか、ミズナラ林やシラカンバ林等の落葉広葉樹林、カラマツ等の植林地などが広がっている。火打山周辺の標高 2,000~2,100m 地点には黒沢池、高谷池及び天狗の庭と呼ばれる池塘が存在し、ハクサンコザクラ、チングルマ等のお花畠が広がっている。更に、山麓等に点在する湖沼にはミズバショウやリュウキンカなどの特徴的な湿原植生が見られる箇所がある。

ウ 野生生物

本地域周辺では、ニホンツキノワグマやニホンカモシカといった大型哺乳類から森林性鳥類、河川や湖沼に生息する両生類・爬虫類や魚類、高山蝶をはじめとする多種多様な昆虫類等まで、複雑な山岳環境下に多種多様な生物の生息が見られる。本地域は、大部分が IBA（重要野鳥生

息地)「妙高・戸隠」に選定されるなど、鳥類の重要な生息地である。本地域を代表する鳥類であるライチョウや希少猛禽類のイヌワシ、クマタカ等の生息が見られる他、約 60 種の夏鳥の繁殖が確認されている。

特にライチョウ(頸城山系個体群)は、国内北限の個体群として極めて重要である。

エ 自然現象

本地域周辺では、火山及び多雪に関する特徴的な自然現象が見られる。

焼山は現在も噴煙をあげる活火山である。安永 2 年に発生した噴火以降、火碎流や火山泥流を伴うような噴火は認められていないが、最近では昭和 49 年、昭和 58~59 年に活発な噴火活動があり、現在でも噴気をあげているのが確認される。

また、妙高山麓をはじめ、雨飾山、焼山の山麓には各地に温泉がある。さらに妙高市の南地獄谷やおたり小谷温泉の熱湯は、自然の湯滝となって流れる景観を見せる。

当該地域は多雪地帯として有名であり、火打山北側に流れる澄川すみかわでは壮大な大雪渓が見られる。

オ 文化景観その他の特殊景観

戸隠神社を中心とする山岳信仰により作られてきた門前町等が歴史的景観地となっている。また、野尻湖のナウマンゾウの化石等の発掘は全国的に有名であるほか、笹ヶ峰牧場は高原の象徴的な景観を作り出している。その他、小谷温泉は古くからの湯治場として歴史的な雰囲気を残している等、当該地域は温泉利用が盛んである。

(2) 利用の現況

本地域の利用者数は、バブル期の平成 3 年頃をピークに大幅に減少している。このうち、スキーリー離れば特に著しい。一方、登山やトレッキング等グリーンシーズンの利用者が増加傾向にあり、従来のスキー中心の利用からグリーンシーズンの新しい利用形態への変化が見られる。各地域に見られる利用の特色は以下のとおりである。

妙高地域においては、いもり池、苗名滝、笹ヶ峰が利用拠点になっており、スキー、温泉利用のほか、近年は登山、トレッキングなどグリーンシーズンの利用が活発となっている。また、笹ヶ峰はマラソンの準高地トレーニングのメッカとなっており、大学や実業団の合宿で池の平や杉野沢の民宿、ペンションが利用されている。

糸魚川地域では、平成 21 年 8 月、日本で初めての世界ジオパークに登録されており 24 箇所のジオサイトを活用した取り組みを行っている。このうち 5 箇所は焼山、雨飾山など国立公園区域と重複しており、主に山岳利用が中心となっている。

戸隠地域では戸隠神社、鏡池等が主要な利用拠点となっている。戸隠神社の参拝を中心として周辺施設や探勝路の利用が主体であるほか、冬季はスキー、グリーンシーズンは登山の利用拠点ともなっている。近年は、戸隠神社周辺、鏡池等はお盆や紅葉の時期に観光客で混雑する傾向に

ある。このほか、国立公園境界周辺では黒姫高原、飯綱高原において宿舎等の利用施設が整備され、スキー、登山等の利用拠点となっている。

野尻湖地域では、湖沼景観の展望利用並びに遊覧船、釣り、水上スキー及びカヌーなど湖上の多様な利用がされている。

小谷温泉は古くからの湯治場として温泉利用が多いほか、自然探勝や雨飾山などの登山利用の拠点としても利用されている。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本区域は、公園区域 39,772ha のうち、国有地 32,954ha (82.9%)、公有地 1,748ha (4.4%)、私有地 5,070ha (12.7%) であり、国有地の本区域全体に占める割合が大きい。

イ 人口及び産業

本区域に関する各市町村の人口及び世帯数は、次の通りである。

| 県名 | 市町村名 | 世帯数（世帯） | 人口（人） |
|-----|------|---------|---------|
| 新潟県 | 糸魚川市 | 17,433 | 47,702 |
| | 妙高市 | 11,801 | 35,457 |
| 長野県 | 長野市 | 146,520 | 381,511 |
| | 小谷村 | 1,250 | 3,221 |
| | 信濃町 | 3,247 | 9,238 |
| | 飯綱町 | 3,788 | 11,865 |

(平成 22 年国勢調査結果)

国勢調査によれば、平成 17 年調査と平成 22 年調査との比較では、すべて市町村で横ばいないし減少となっている。これは、過疎化、高齢化、雇用情勢の悪化等により減少しているものと思われる。

野尻湖、黒姫高原、飯綱高原や、小谷村及び鬼無里地区の平坦地等、一部を除いて一帯が森林地域であり、大部分が国有林となっている。

笹ヶ峰牧場、戸隠牧場が農用地区域、笹ヶ峰牧場を含む周辺と小谷温泉周辺が農業地域であり、国立公園に隣接する地域では、妙高高原、黒姫高原、飯綱高原、小谷村、鬼無里地区、笹倉温泉及び焼山温泉の一帯が農業地域となっているが、国立公園内の地域においては、観光が主要産業であり農林業への依存は高くない。

また、糸魚川市は地元で採掘される良質な石灰石を原材料とした資源利用型の化学・セメント産業が基幹産業となっており、これに伴う関係企業の水力発電施設が立地している。

ウ 権利制限関係

(ア) 保安林

(国有林)

| 種類 | 位置 | 重複面積 (ha) | 指定年月日 |
|--------|--------------|-----------|-------------|
| 水源かん養 | 新潟県糸魚川市地内 | 8,833.3 | 大正7年2月13日他 |
| | 新潟県妙高市地内 | 11,206.4 | 昭和37年5月15日他 |
| | 長野県長野市地内 | 7,616.8 | 大正7年1月9日他 |
| | 長野県上水内郡信濃町地内 | 3,237.2 | 昭和46年3月29日他 |
| 土砂流出防備 | 新潟県糸魚川市地内 | 0.2 | 大正7年2月13日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 740.9 | 大正13年3月10日 |
| | 長野県長野市地内 | 23.4 | 昭和36年6月28日他 |
| | 長野県北安曇郡小谷村地内 | 2,211.1 | 昭和34年5月13日他 |
| | 長野県上水内郡信濃町地内 | 146.4 | 昭和36年6月28日他 |
| 土砂崩壊防備 | 新潟県糸魚川市地内 | 0.6 | 大正7年2月13日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 0.1 | 平成9年5月2日 |
| 保健 | 新潟県糸魚川市地内 | 5.5 | 昭和56年10月30日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 1,180.3 | 昭和55年12月8日 |
| | 長野県長野市地内 | 1,120.6 | 昭和52年3月8日 |
| | 長野県上水内郡信濃町地内 | 380.5 | 昭和52年3月8日 |

(公有林)

| 種類 | 位置 | 重複面積 (ha) | 指定年月日 |
|--------|--------------|-----------|-------------|
| 水源かん養 | 新潟県糸魚川市地内 | 18.4 | 大正7年2月13日 |
| | 長野県長野市地内 | 111.2 | 大正3年6月26日他 |
| | 長野県北安曇郡小谷村地内 | 1,394.7 | 昭和46年3月29日他 |
| 土砂流出防備 | 新潟県糸魚川市地内 | 289.0 | 大正8年7月3日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 99.9 | 昭和60年8月8日 |
| | 長野県北安曇郡小谷村地内 | 10.0 | 大正3年4月9日 |
| | 長野県上水内郡信濃町地内 | 0.3 | 平成15年4月14日 |
| 土砂崩壊防備 | 新潟県妙高市地内 | 107.5 | 平成9年5月2日 |
| なだれ防止 | 長野県上水内郡信濃町地内 | 0.1 | 大正3年4月15日 |
| 保健 | 新潟県糸魚川市地内 | 42.5 | 昭和56年10月30日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 85.1 | 昭和60年9月20日 |

(民有林)

| 種類 | 位置 | 重複面積 (ha) | 指定年月日 |
|--------|--------------|-----------|-------------|
| 水源かん養 | 新潟県糸魚川市地内 | 1.9 | 大正7年2月13日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 109.0 | 昭和30年10月21日 |
| | 長野県長野市地内 | 204.3 | 大正3年4月15日他 |
| | 長野県北安曇郡小谷村地内 | 806.4 | 昭和46年3月29日 |
| 土砂流出防備 | 新潟県糸魚川市地内 | 11.8 | 大正7年2月13日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 189.2 | 大正13年3月10日 |
| | 長野県長野市地内 | 19.6 | 平成16年11月8日他 |
| | 長野県北安曇郡小谷村地内 | 8.1 | 大正3年4月9日 |
| | 長野県上水内郡信濃町地内 | 0.9 | 平成9年7月25日他 |
| 土砂崩壊防備 | 新潟県糸魚川市地内 | 2.4 | 大正7年2月13日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 38.4 | 平成9年5月2日 |
| なだれ防止 | 長野県上水内郡信濃町地内 | 4.0 | 大正3年4月15日 |
| 保健 | 新潟県糸魚川市地内 | 173.0 | 昭和56年10月30日 |
| | 新潟県妙高市地内 | 76.8 | 昭和60年9月20日 |

(イ) 鳥獣保護区

(県指定)

| 種類 | 位置 | 重複面積 (ha) | 当初指定年月日 |
|-----------|----------------------|-------------------------------|-------------|
| いもり池鳥獣保護区 | 新潟県妙高市地内 | 87.0 | 昭和50年11月15日 |
| 妙高山鳥獣保護区 | 新潟県糸魚川市、妙高市地内 | 13,979.7 (うち特保 2,516.0) | 昭和59年11月1日 |
| 戸隠鳥獣保護区 | 長野県長野市地内 | 531.0 | 昭和45年11月1日 |
| 奥裾花鳥獣保護区 | 長野県長野市地内 | 3,315.0 | 昭和59年11月1日 |
| 戸隠山鳥獣保護区 | 長野県長野市、上水内郡信濃町 地内 | 4,582.0 (うち特保 187.0) | 昭和58年11月1日 |
| 野尻湖鳥獣保護区 | 長野県上水内郡信濃町地内 | 596.0 | 昭和58年11月1日 |
| 野尻鳥獣保護区 | 長野県上水内郡信濃町地内 | 90.0 | 昭和40年11月1日 |

(ウ) 史跡名勝天然記念物

| 区分 | 名称 | 位置 | 指定年月日 |
|----------|-------------------|----------|------------------|
| 県指定天然記念物 | 戸隠神社奥社社叢 | 長野県長野市地内 | 昭和 48 年 3 月 12 日 |
| | 深谷沢の蜂の巣状風化岩 | 長野県長野市地内 | 昭和 48 年 3 月 12 日 |
| | 奥裾花自然園のモリアオガエル繁殖地 | 長野県長野市地内 | 平成 12 年 9 月 21 日 |
| 県指定史跡 | 戸隠神社信仰遺跡 | 長野県長野市地内 | 昭和 54 年 3 月 22 日 |
| 県指定名勝 | 奥裾花峡谷 | 長野県長野市地内 | 平成 2 年 2 月 19 日 |

3 公園区域

上信越高原国立公園西部地域（名称未定）の区域を次のとおりとする。

(表1：公園区域（陸域）表)

| 都道府県名 | 区域 | 面積 (ha) |
|-------|---|--|
| 新潟県 | 新潟県糸魚川市内 国有林上越森林管理署 89 林班、90 林班、93 林班及び 99 林班の全部並びに 97 林班及び 98 林班の各一部 | |
| | 新潟県糸魚川市 大字大平字アトサカ、字カミナカセ、字コクラ、字コソウレ、字シウキタブ、字シモナカセ、字センナミ、字ツキダシ、大字梶山字広道倉及び大字中川原新田字ホド平の全部並びに大字大平字イケノヒラ、字カケアラセ、字ソデガワラ、字タキクラ、字ナカセカワラ、字ヲウソデ、大字梶山字東山横草蓮及び大字中川原新田字笹倉山の各一部 | |
| | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 11 林班、13 林班から 23 林班まで及び 25 林班から 65 林班までの全部並びに 12 林班、66 班及び 67 林班の各一部 | |
| | 新潟県妙高市 大字赤倉字一本木、字北、字郷田切、字広、字前沖、字南、大字関川字大野、字コハク平、字小屋場及び字平石の全部並びに大字毛祝坂字大揚、字北二ツ沢、字南二ツ沢、大字坂口新田字大戸、大字杉野沢字宇棚、字柄沢、字西野、字高野、字抜井、字谷内畠、大字関川字いもり池、字大中島、字鎌谷内、字都々女喜、字畠野、字鳩胸、字山拓谷内、大字関山字柏木原、字大洞原、字坪岳、字妙高山、大字田口字一本樽、大字二俣字ウト山及び字西熊堂の各一部 | <div style="text-align: right; margin-right: 10px;"> 21,442 18,061 703 2,678 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 国 公 私 </div> |

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|--|---------|
| 長野県 | <p>長野県長野市内</p> <p>国有林北信森林管理署 1001 林班から 1003 林班、 1025 林班から 1032 林班まで、1041 林班から 1050 林班まで、1056 林班から 1059 林班まで及び 1064 林班から 1066 林班までの全部並びに 1034 林班、 1035 林班、1040 林班及び 1051 林班から 1055 林班 までの各一部</p> <p>国有林上越森林管理署 66 林班及び 67 林班までの各 一部</p> | |
| | <p>長野県長野市</p> <p>大字戸隠字池ノ谷、字入荒倉、字奥社、字大科、字 表山、字帰岩、字久保、字軍勢、字午王峰、字越水、 字逆木、字品沢、字勝負平、字城平、字中社、字堤、 字堂前林、字日影、字東谷、字東矢配平、字掘切、 字牧原、字向林、字矢背畝、字矢配平及び大字戸隠 豊岡道上の全部並びに大字上ヶ屋字麓原、大字北 郷、大字中曾根、大字鬼無里字釜岩、大字戸隠字大 木、字大胴沢、字掛札、字中島、字西原、字宝光社、 大字戸隠柄原字釜岩、字竜光、大字戸隠豊岡字荒倉 山、字飯綱山、字李平、字潛水、字柄沢、字鳥居沢、 字長峰、字藤倉、字道下及び大字富田字飯綱山の各 一部</p> | |
| | <p>長野県北安曇郡小谷村内</p> <p>国有林中信森林管理署 607 林班から 613 林班までの 全部並びに 602 林班及び 603 林班の各一部</p> | |
| | <p>長野県北安曇郡小谷村</p> <p>大字中土字熱湯々尻平、字阿原、字阿原平、字家ノ 下、字家ノ脇、字家前、字大ウト、字オオゾレ、字 大渚、字押立、字カンバ平、字黒菱上平、字十二沢 平、字十二沢平道下、字天狗原、字中カヤバ、字濁、 字濁上ノヲネ、字濁東平、字濁東平道上、字濁道上、 字濁道下、字巾上、字水頭、字宮尾根、字屋敷上、 字屋敷上平、字湯端及び湯出口東平の全部</p> | |

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|---|--|
| | 長野県上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1002 林班から 1008 林班まで、1024 林班及び 1080 林班の全部並びに 1009 林班、1011 林班、1012 林班、1014 林班、1015 林班、1018 林班、1021 林班から 1023 林班まで及び 1033 林班から 1038 林班までの各一部 | |
| | 長野県上水内郡信濃町 大字富濃字大久保、字神山、字西原、大字野尻字大日影、字神山、字家老路、字狐久保、字城帰、字寺山、字道輪久保、字舟瀬、字舟場、大字古海字市川、字桐久保及び字宮沢の全部並びに大字富濃字鳥越、字針ノ木、字細谷、字宮沢、大字野尻字海端、大字古海字ヶサガ久保、字菅川及び字船合の各一部 | |
| | 長野県上水内郡信濃町 野尻湖の全部 | |
| | 長野県上水内郡飯綱町内 国有林北信森林管理署 1038 林班から 1040 林班までの各一部 | 18,330 国 14,893 公 1,045 私 2,392 |
| | 長野県上水内郡飯綱町 大字川上字靈仙寺山の一部 | |
| 合 計 | | 39,772 国 32,954 公 1,748 私 5,070 |

上信越高原国立公園西部地域
(名称未定)

公園計画書
(新規指定)

(環境省原案)

平成 年 月 日
環 境 省

目 次

| | |
|------------------------|----|
| 1 基本方針 | 1 |
| 2 規制計画..... | 3 |
| (1) 保護規制計画及び関連事項 | 3 |
| ア 特別地域 | 3 |
| (ア) 特別保護地区 | 6 |
| (イ) 第1種特別地域 | 9 |
| (ウ) 第2種特別地域 | 12 |
| (エ) 第3種特別地域 | 21 |
| イ 関連事項 | 29 |
| (ア) 採取等規制植物 | 29 |
| (イ) 乗入れ規制区域及び期間 | 35 |
| ウ 面積内訳 | 36 |
| 3 事業計画 | 38 |
| (1) 施設計画 | 38 |
| ア 保護施設計画 | 38 |
| イ 利用施設計画 | 39 |
| (ア) 集団施設地区 | 39 |
| (イ) 単独施設 | 49 |
| (ウ) 道路 | 53 |
| a 車道 | 53 |
| b 歩道 | 54 |
| (エ) 運輸施設 | 57 |

1 基本方針

上信越高原国立公園西部地域（名称未定）は、新潟県と長野県の県境に位置し、妙高火山群、戸隠連峰及び雨飾山並びにその周辺の標高500mから2,400mの山岳部と、それらの裾野に広がる高原を含む地域である。本公園は、小面積に生成要因、時期を異とする、個性的な山容を呈する山々が群集しており、我が国でも傑出した山岳景観を有している。また、本公園には山麓・山間に比較的小面積の高原地帯が点在するとともに、多くの湖沼・湿原があることから、山岳と相まって一体的な傑出した景観を作り出している。

本公園が有する風致景観の現況を踏まえながら、その保全と適切な利用の推進を図るため、以下の方針により公園計画を定めるものとする。

（1）規制計画

ア 特別地域

（ア）特別保護地区

標識的な複式火山の山容を留める妙高山を始めとする妙高連峰の稜線部、凝灰角礫岩の差別浸食による特異な山容を呈す戸隠連峰の稜線部並びにカルデラ状地形に火口原が広がる黒姫山山頂火口部においては、類い希な優れた山岳景観を形成するとともに、貴重な自然環境を保持している地域であり、当公園の核心部分にあたることから、特に厳重に景観の保護を図るために特別保護地区とする。

（イ）第1種特別地域

本公園の特色である個性的な山岳景観を構成している特別保護地区周辺（妙高連峰、戸隠連峰、黒姫山）及び雨飾山稜線部、飯縄山山頂部等の原始性の高い自然環境を残す地域及びいもり池周辺の優れた展望地点について、第1種特別地域とする。

（ウ）第2種特別地域

笹ヶ峰、池の平、戸隠、小谷温泉、野尻湖等の現状利用が成されている地域及び山岳部等で良好な自然環境が残されている地域について風致の維持を図るため第2種特別地域とする。

（エ）第3種特別地域

上記の地域と一体となって風致を形成している地域、人工林や二次林を主体とした地域について、風致の維持を図るため第3種特別地域とする。

（2）施設計画

イ 利用施設計画

（ア）集団施設地区

五最杉、笹ヶ峰、いもり池、小谷温泉及び戸隠については、国立公園のエントランスや自然探勝、登山利用などのための利用拠点として、効果的な利用施設の整備が必要であることから、集団施設地区に指定し、適切な整備方針等を定める。

(イ) 単独施設

本公園の特色である個性的な山岳景観や高原・湖沼景観を探勝するため、山岳地域及び山麓・山間に位置する高原地域において、適切な利用の推進が図れるよう、バランス良く計画を配置する。

計画にあたっては、利用状況を踏まえ公園利用上必要な施設について、事業実施の可能性や施設整備による風致景観への影響を考慮し、適切な種別の計画を位置づける。

(ウ) 道路（車道）

集団施設地区への到達路や公園の利用地点を繋ぐ車道のうち、公園利用上必要な路線を位置づける。

(エ) 道路（歩道）

本公園の特色である個性的な山岳について、適正な利用を推進するために各山岳の特性に応じた、登山道としての歩道を計画する。また、山麓・山間に位置する高原やそこに点在する湖沼を利用するため、自然探勝路としての歩道を計画する。さらに、公園全体や公園内外の歩く利用に対応するため、利用拠点や利用地点を繋ぐよう広域的に歩道を計画する。

(オ) 運輸施設

スキー場等において、夏季の自然探勝や展望利用を行うため、索道運送施設事業を計画する。また、野尻湖における湖上利用のため、係留施設事業を計画する。

2 規制計画

(1) 保護規制計画及び関連事項

ア 特別地域

次の区分を特別地域とする。

(表1：特別地域総括表)

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|---|---------|
| 新潟県 | 糸魚川市内 国有林上越森林管理署 89 林班、90 林班、93 林班及び 99 林班の全部並びに 97 林班及び 98 林班の各一部 糸魚川市 大字大平字アトサカ、字カミナカセ、字コクラ、字コソウレ、字シウキタブ、字シモナカセ、字センナミ、字ツキダシ、大字梶山字広道倉及び大字中川原新田字ホド平の全部並びに大字大平字イケノヒラ、字カケアラセ、字ソデガワラ、字タキクラ、字ナカセカワラ、字ヲウソデ、大字梶山字東山横草蓮及び大字中川原新田字笹倉山の各一部 | 5, 275 |
| | 妙高市内 国有林上越森林管理署 11 林班、13 林班から 23 林班まで及び 25 林班から 65 林班までの全部並びに 12 林班、66 班及び 67 林班の各一部 妙高市 大字赤倉字一本木、字北、字郷田切、字広、字前沖、字南、大字関川字大野、字コハク平、字小屋場及び字平石の全部並びに大字毛祝坂字大揚、字北二ッ沢、字南二ッ沢、大字坂口新田字大戸、大字杉野沢字字棚、字柄沢、字西野、字高野、字抜井、字谷内畠、大字関川字いもり池、字大中島、字鎌谷内、字都々女喜、字畠野、字鳩胸、字山拓谷内、大字関山字柏木原、字大洞原、字坪岳、字妙高山、大字田口字一本樽、大字二俣字ウト山及び字西熊堂の各一部 | 16, 167 |
| | 小 計 | 21, 442 |

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|---|---------|
| 長野県 | <p>長野市内</p> <p>国有林北信森林管理署 1001 林班から 1003 林班、1025 林班から 1032 林班まで、1041 林班から 1050 林班まで、1056 林班から 1059 林班まで及び 1064 林班から 1066 林班までの全部並びに 1034 林班、1035 林班、1040 林班及び 1051 林班から 1055 林班までの各一部</p> <p>国有林上越森林管理署 66 林班及び 67 林班の各一部</p> <p>長野市</p> <p>大字戸隠字池ノ谷、字入荒倉、字奥社、字大科、字表山、字帰岩、字久保、字軍勢、字午王峰、字越水、字逆木、字品沢、字勝負平、字城平、字中社、字堤、字堂前林、字日影、字東谷、字東矢配平、字掘切、字牧原、字向林、字矢背畝、字矢配平及び大字戸隠豊岡道上の全部並びに大字上ヶ屋字麓原、大字北郷、大字中曾根、大字鬼無里字釜岩、大字戸隠字大木、字大胴沢、字掛札、字中島、字西原字宝光社、大字戸隠柄原字釜岩、字竜光、大字戸隠豊岡字荒倉山、字飯綱山、字李平、字潜水、字柄沢、字鳥居沢、字長峰、字藤倉、字道下及び大字富田字飯綱山の各一部</p> | 10,204 |
| | <p>北安曇郡小谷村内</p> <p>国有林中信森林管理署 607 林班から 613 林班までの全部並びに 602 林班及び 603 林班の各一部</p> <p>北安曇郡小谷村</p> <p>大字中土字熱湯々沢、字阿原、字阿原平、字家ノ下、字家ノ脇、字家前、字大ウト、字オオゾレ、字大渚、字押立、字カンバ平、字黒菱上平、字十二沢平、字十二沢平道下、字天狗原、字中カヤバ、字濁、字濁上ノヲネ、字濁東平、字濁東平道上、字濁道上、字濁道下、字巾上、字水頭、字宮尾根、字屋敷上、字屋敷上平、字湯端及び湯出口東平の全部</p> | 3,093 |

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|--|---------|
| 長野県 | 上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1002 林班から 1008 林班まで、1024 林班及び 1080 林班の全部並びに 1009 林班、1011 林班、1012 林班、1014 林班、1015 林班、1018 林班、1021 林班から 1023 林班まで及び 1033 林班から 1038 林班までの各一部 上水内郡信濃町 大字富濃字大久保、字神山、字西原、大字野尻字大日影、字神山、字家老路、字狐久保、字城帰、字寺山、字道輪久保、字舟瀬、字舟場、大字古海字市川、字桐久保及び字宮沢の全部並びに大字富濃字鳥越、字針ノ木、字細谷、字宮沢、大字野尻字海端、大字古海字ヶサガ久保、字菅川及び字船合の各一部 上水内郡信濃町内 野尻湖の全部 | 4,738 |
| | 上水内郡飯綱町内 国有林北信森林管理署 1038 林班から 1040 林班までの各一部 | |
| | 上水内郡飯綱町 大字川上字靈仙寺山の一部 | 295 |
| | 小 計 | 18,330 |
| | 合 計 | 39,772 |

(ア) 特別保護地区

特別地域のうち、次の区域を特別保護地区とする。

(表2：特別保護地区総括表)

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|--|---------|
| 新潟県 | 糸魚川市内 国有林上越森林管理署 90 林班、93 林班及び 97 林班の各一部 | 563 |
| | 妙高市内 国有林上越森林管理署 11 林班、13 林班、14 林班、16 林班、26 林班、36 林班、37 林班、39 林班、41 林班、42 林班、44 林班、47 林班から 49 林班、63 林班及び 67 林班の各一部 | 1,805 |
| | 小 計 | 2,368 |
| 長野県 | 長野市内 国有林北信森林管理署 1027 林班、1028 林班及び 1046 林班から 1059 林班までの各一部 国有林上越森林管理署 67 林班の一部 | 1,103 |
| | 上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1080 林班の全部 | 81 |
| | 小 計 | 1,184 |
| | 合 計 | 3,552 |

(表3：特別保護地区内訳表)

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|------|---|--|----------|
| 妙高連峰 | 新潟県糸魚川市内 国有林上越森林管理署 90 林班、93 林班及び 97 林班の各一部 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 11 林班、13 林班、14 林班、16 林班、 26 林班、36 林班、37 林班、39 林班、 41 林班、42 林班、44 林班、47 林班か ら 49 林班、63 林班及び 67 林班の各 一部 | <p>妙高連峰を代表する頸城三山の妙高山 (2,454m)、火打山 (2,462m) 及び焼山 (2,400m) の稜線部と、これらを取り巻く山頂部を結ぶ地域で、急峻な火山地形をなしている。新潟県唯一の活火山である焼山は、現在でも噴煙が見られ、これらの火山地形と、山頂部の高谷池、黒沢池、長助池等の湿原地形が織りなす景観は極めて貴重である。</p> <p>また、高谷池、黒沢池及び天狗の庭周辺にはハクサンコザクラ、チングルマ等の湿性植物が豊富に生育しており、火打山から焼山にかけての区域には日本最北限のライチョウ個体群や希少猛禽類のイヌワシが生息している。</p> <p>これらのことから、特に厳重に景観の維持を図るべき地区である。</p> | 2,368 |
| 戸隠連峰 | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1027 林班、1028 林班及び 1046 林班か ら 1059 林班までの各一部 国有林上越森林管理署 67 林班の一部 | <p>戸隠連峰を構成する西岳 (2,053m)、戸隠山 (1,904m) 及び高妻山 (2,352m) の稜線部と、周辺山岳の山頂部を結ぶ地 域で、差別浸食による特殊地形となっており、優れた山岳景 観を形成している。</p> <p>また、戸隠連峰にはトガクシショウマやトガクシギク等の 固有種も多く、植生や地形の多様性に応じて動物相も豊か で、ツキノワグマ、ニホンザル等の大型哺乳類及び多くの鳥 類が生息している。</p> <p>これらのことから、特に厳重に景観の維持を図るべき地区 である。</p> | 1,103 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|-----|---|---|----------|
| 黒姫山 | 長野県上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1080 林班の全部 | 黒姫山 (2,053m) の山頂火口部であり、カルデラ状の地形に火口原が広がり、七ツ池及び大池と呼ばれる大小の沼があるほか、原生林が残されている。 また、山頂部にはハイマツ群落やキバナシャクナゲ等の高山植物やヒカリゴケが豊富に生育している。 これらのことから、特に厳重に景観の維持を図るべき地区である。 | 81 |
| 合 | 計 | | 3,552 |

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|--|---------|
| 新潟県 | 糸魚川市内 国有林上越森林管理署 99 林班の全部並びに 93 林班及び 97 林班の各一部 | 1,624 |
| | 妙高市内 国有林上越森林管理署 26 林班、31 林班、34 林班から 37 林班まで、39 林班から 42 林班まで、44 林班及び 47 林班から 49 林班までの各一部 | |
| | 妙高市 大字関川字いもり池の一部 | 1,768 |
| | 小 計 | 3,392 |
| 長野県 | 長野市内 国有林北信森林管理署 1035 林班、1040 林班から 1042 林班まで、1045 林班及び 1052 林班から 1059 林班までの各一部 | 696 |
| | 北安曇郡小谷村内 国有林中信森林管理署 602 林班、603 林班、607 林班、608 林班、610 林班及び 611 林班の各一部 | 681 |
| | 上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1006 林班の一部 | 41 |
| | 上水内郡飯綱町内 国有林北信森林管理署 1039 林班の一部 | 2 |
| | 小 計 | 1,420 |
| 合 計 | | 4,812 |

(表5：第1種特別地域内訳表)

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|--------------|---|--|----------|
| 妙高連峰北面 中腹 | 新潟県糸魚川市内 国有林上越森林管理署 93 林班の一部 | 焼山の北側の地域で、溶岩流によって覆われている特殊景観をなしており、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 735 |
| 妙高連峰南面 中腹 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 31 林班、34 林班から 37 林班まで、39 林班から 42 林班まで、44 林班及び 47 林班から 49 林班までの各一部 | 妙高連峰の稜線部の南側斜面で原生林が残存している区域となっており、ライチョウの生息地としても知られている。これらの優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1, 391 |
| かんなやま 神奈山 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 26 林班の一部 | 神奈山 (1,909m) の南側の区域で北地獄谷の水源地となっている。また、妙高山と神奈山が並んで見られる展望主要地点となっており、原生林が残存している。これらの優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 369 |
| 雨飾山 天狗原山 | 新潟県糸魚川市内 国有林上越森林管理署 99 林班の全部及び 97 林班の一部 長野県北安曇郡小谷村内 国有林中信森林管理署 602 林班、603 林班、607 林班、608 林班、610 林班及び 611 林班の各一部 | 焼山の西側から雨飾山 (1,963m) を含む地域で、起伏に富んだ地形をなしている。雨飾山を中心とする山稜部には、残雪の多い立地に生ずる高茎草原、雪田植生等特異な植生が生育している。これらの優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1, 570 |
| いもり池 | 新潟県妙高市 大字関川字いもり池の一部 | 標高約 750m のいもり池及びその周辺の区域であり、妙高高原の展望地点として最も優れている。また、いもり池周辺のミズバショウ、ミツガシワ等湿性植物が貴重である。これらの優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 8 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|----------|---|---|----------|
| 戸隠連峰西側山腹 | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1052 林班から 1059 林班までの各一部 | 戸隠連峰稜線部の西側斜面であり、ブナの原生林で構成されている。これらの優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 682 |
| 黒姫山山頂北側 | 長野県上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1006 林班の一部 | 黒姫山山頂北側の区域であり、ササの自然草地で、火口原という特殊な地形となっている。これらの優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 41 |
| 飯縄山山頂 | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1035 林班、1040 林班から 1042 林班及び 1045 林班の各一部 長野県上水内郡飯綱町内 国有林北信森林管理署 1039 林班の一部 | 飯縄山 (1,917m) の山頂部 (1,800m 以上) の区域で、亜高山帯に位置し、風衝草原となっており、マツムシソウ、サラサドウダン等の多くの高山植物が生育しており、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 16 |
| 合 | | 計 | 4,812 |

(ウ) 第2種特別地域

次の区域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|---|---------|
| 新潟県 | 糸魚川市内 国有林上越森林管理署 89 林班の全部並びに 90 林班、93 林班、97 林班及び 98 林班の各一部 糸魚川市 大字大平字コクラ、字コソウレ、字シウキタブ、大字梶山字広道倉及び大字中川原新田字ホド平の全部並びに大字大平字アトサカ、字イケノヒラ、字カミナカセ、字タキクラ、大字梶山字東山横草蓮及び大字中川原新田字笹倉山の各一部 | 3,076 |
| | 妙高市内 国有林上越森林管理署 43 林班、46 林班、51 林班及び 52 林班の全部並びに 11 林班から 19 林班まで、23 林班、25 林班、27 林班、29 林班から 42 林班まで、45 林班、47 林班、50 林班、53 林班から 59 林班まで及び 61 林班から 65 林班までの各一部 妙高市 大字坂口新田字大戸、大字杉野沢字宇棚、字柄沢、字西野、大字関川字畠野、字鳩胸、大字関山字大洞原、字坪岳、大字田口字一本樽及び大字二俣字西熊堂の各一部 | 5,693 |
| | 小 計 | 8,769 |
| 長野県 | 長野市内 国有林北信森林管理署 1002 林班、1003 林班、1025 林班から 1032 林班まで、1034 林班、1035 林班、1040 林班から 1050 林班まで、1054 林班、1058 林班、1059 林班、1065 林班及び 1066 林班の各一部 長野市 大字戸隠字入荒倉、字奥社、字大科、字表山、字久保、字午王峰、字越水、字品沢、字中社、字堂前林、字日影、字東谷、字堀切、字牧原、字向林の全部並びに大字上ヶ屋字麓原、大字鬼無里字釜岩、大字戸隠字大胴沢、字宝光社、大字戸隠柄原字釜岩、字竜光、大字戸隠豊岡字荒倉山、字飯綱山、字李平、字潛水、字長峰、字藤倉、字道下、字柄沢、字鳥居沢及び大字富田字飯綱山の各一部 | 2,817 |

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|--|---------|
| | 北安曇郡小谷村内 国有林中信森林管理署 607 林班、608 林班、611 林班及び 612 林班の各一部 北安曇郡小谷村 大字中土字熱湯々尻平、字阿原、字阿原平、字家前、字家ノ下、字家ノ脇、字オオゾレ、字大ウト、字大渚、字押立、字カンバ平、字黒菱上平、字十二沢平、字十二沢平道下、字天狗原、字中カヤバ、字濁、字濁道下、字濁東平、字濁上ノヲネ、字濁道上、字濁東平道上、字巾上、字水頭、字宮尾根、字屋敷上、字屋敷上平、字湯端及び湯出口東平の全部 | 1,379 |
| | 上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1002 林班から 1009 林班まで、1012 林班、1014 林班、1015 林班、1018 林班、1021 林班から 1024 林班まで、1033 林班から 1036 林班まで及び 1038 林班の各一部 上水内郡信濃町 大字富濃字大久保、字神山、字西原、大字野尻字大日影、字神山、字家老路、字狐久保、字城帰、字寺山、字道輪久保、字舟瀬、字舟場、大字古海字市川及び字桐久保の全部並びに大字富濃字鳥越、字針ノ木、字細谷、字宮沢、大字野尻字海端、大字古海ケサガ久保、字菅川及び字船合の各一部 上水内郡信濃町 野尻湖の全部 | 1,968 |
| | 上水内郡飯綱町内 国有林北信森林管理署 1038 林班から 1040 林班までの各一部 | 93 |
| | 小 計 | 6,257 |
| | 合 計 | 15,026 |

(表7：第2種特別地域内訳表)

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|-------|--|---|----------|
| 奥 笹ヶ峰 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 43 林班及び 46 林班の全部並びに 35 林班から 42 林班まで、45 林班、47 林班、50 林班及び 51 林班の各一部 | 真川の上流部で老山 (1,730m)、薬師岳 (1,801m) 等を含んでいる。渓谷が発達していて、地形は急端をなしているが、植生に恵まれ、昆虫類が豊富である。これらの良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1,169 |
| 笹ヶ峰 | 新潟県妙高市 大字杉野沢字宇棚、字柄沢及び字西野の各一部 | 笹ヶ峰野営場や笹ヶ峰牧場を含む地域で、標高 1,300m 周辺に位置し、広大な放牧場には自然芝やキンポウゲ等の野草が生息する高原景観を成していおり、火打山登山客や周辺散策のための利用拠点になっている。これらの良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1,009 |
| 地蔵山 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 51 林班及び 52 林班の全部並びに 53 林班から 59 林班まで及び 61 林班から 65 林班までの各一部 | 地蔵山 (2,073m)、神道山 (1,785m)、柳原岳 (1,788m) を含む地域であり、ニグロ川の集水面積の外周部をなし、ブナやミズナラなどの自然植生がみられ、これらの良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1,211 |
| 南地獄谷 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 29 林班から 34 林班までの各一部 新潟県妙高市 大字田口字一本樽の一部 | 赤倉山 (2,141m) 及び南地獄谷の上流部を含む地域であり、国道 18 号線や上信越自動車道、信越本線沿線から妙高連峰を望んだときによく展望できる地域で、なだらかな高原地形をなしており、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 679 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|--------|--|--|----------|
| 坪岳 | 新潟県妙高市 大字関山字坪岳の一部 | 坪岳 (1,755m) を中心とした地域で、小起伏が地形的変化を与え、特殊な景観を形成しており、これら良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 72 |
| 太田切川 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 23 林班、25 林班及び 27 林班の各一部 新潟県妙高市 大字坂口新田字大戸、大字関山字大洞原 及び大字二俣字西熊堂の各一部 | ヤナギ類などの河畔林がみられる太田切川を中心とした地域で、田切地形（V字谷）がよく発達している。燕温泉を含む地域でもあるため利用者も多い。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 291 |
| 妙高連峰北部 | 新潟県糸魚川市内 国有林上越森林管理署 89 林班の全部並びに 90 林班の一部 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 11 林班から 19 林班まで及び 23 林班 の各一部 | 火打山の北東部の斜面であり、矢代川の上流部を占めている。ブナ林が残存しており、広範囲に良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1,734 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (ha) |
|-----------------|---|--|---------|
| 笹倉 | 新潟県糸魚川市内 国有林上越森林管理署 93 林班の一部 新潟県糸魚川市 大字大平字コクラ、字コソウレ、字シウキタブ及び大字中川原新田字ホド平の全部並びに大字大平字アトサカ、字イケノヒラ、字カミナカセ及び大字中川原新田字笹倉山の各一部 | 焼山の北側山麓一帯であり、噴火により流出した土石が地区の大半を覆っており、焼山の噴煙と荒々しい地形が見られる特色景観を形成している。これらの良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1, 276 |
| 梶山 | 新潟県糸魚川市内 国有林上越森林管理署 97 林班及び 98 林班の各一部 新潟県糸魚川市 大字梶山字広道倉の全部並びに字東山 横草蓮の一部 | 焼山から雨飾山までの稜線部の北側中腹に位置し、海谷渓谷が V 字渓谷を形成している。 人跡未踏地が多いことから原生的な自然環境を残している地域も多く、また、梶山新湯は雨飾山登山客の利用拠点にもなっている。 これらの良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1, 280 |
| いもり池周辺 | 新潟県妙高市 大字関川字畠野及び字鳩胸の各一部 | いもり池の第 1 種特別地域を取り巻く区域で、約 10 万株ものミズバショウが生育する湿地が広がっており、自然探勝路が整備されている。これら良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 48 |
| おおみがわ 大海川源流部 | 長野県北安曇郡小谷村内 国有林中信森林管理署 607 林班及び 608 林班の各一部 | 姫川の支流である大海川の源流域及び小谷温泉側の雨飾山登山道を取り巻く区域である。ブナ、オオシラビソ等の自然林が保たれており、雨飾山登山道は雨飾山登山の主要路線となっている。これらの良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 152 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|-------------------------------|--|---|----------|
| 小谷温泉 | 長野県北安曇郡小谷村 大字中土字熱湯々尻平、字阿原、字阿原平、字家前、字家ノ下、字家ノ脇、字才オゾレ、字大ウト、字大渚、字押立、字カンバ平、字黒菱上平、字十二沢平、字十二沢平道下、字天狗原、字中カヤバ、字濁、字濁道下、字濁東平、字濁上ノヲネ、字濁道上、字濁東平道上、字巾上、字水頭、字宮尾根、字屋敷上、字屋敷上平、字湯端及び字湯出口東平の全部 | 小谷温泉や鎌池を取り巻く区域である。カラマツ、スギの人工林、薪炭林、採草地のほか、部分的にブナ、ミズナラ等の自然林が残されている。小谷温泉は、古来より湯治の湯として親しまれており、多くの利用者が訪れている。利用拠点周辺の良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 773 |
| 薬師岳 | 長野県北安曇郡小谷村内 国有林中信森林管理署 611 林班及び 612 林班の各一部 | 天狗原山と乙見峠を結ぶ稜線の中間に位置し、ブナ、ミズナラ等広葉樹の自然林が残されている。人跡未踏地が多く、原生的な自然環境を保っている。これらの良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 504 |
| 堂津岳 <small>(濁川源流部)</small> | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1065 林班及び 1066 林班の各一部 | 乙妻山と堂津岳を結ぶ稜線沿いに位置し、ブナ、ミズナラ等広葉樹の自然林が残されている。人跡未踏地が多く、原生的な自然環境を保っている。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 150 |
| 乙妻山・高妻山山腹 | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1058 林班及び 1059 林班の各一部 | 乙妻山から高妻山の西麓で、裾花川源流部に位置する。ブナ、ミズナラ等広葉樹の自然林が残されている。第1種特別地域の緩衝地帯となっている。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 130 |
| 戸隠連峰西側山腹 | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1054 林班の一部 | 戸隠連峰の西側に位置し、ブナ、ミズナラ等広葉樹の自然林が残されている。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 46 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|-----------------|--|---|----------|
| 五地蔵山・戸 隠神社奥社 | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1025 林班から 1032 林班まで、1046 林 班及び 1050 林班までの各一部 長野市 大字戸隠字奥社、字午王峰及び字越水の 全部並びに字大胴沢の一部 | 戸隠連峰の東側に位置し、カラマツ、シラカンバの人工林 の他、ミズナラ、トチノキ等広葉樹の自然林がある。地区内 には、戸隠神社、戸隠森林植物園などがあり、戸隠連峰の景 観地及び公園利用拠点の場となっている。利用施設周辺の良 好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 937 |
| 黒姫山中腹 | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1002 林班及び 1003 林班の各一部 長野県上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1002 林班から 1009 林班まで、1012 林 班、1014 林班、1015 林班、1018 林班 及び 1021 林班から 1024 林班の各一部 | 黒姫山の山腹、大ダルミ湿原及びその登山道で構成され、 亜高山針葉樹林、大ダルミ湿原群落、ヒカリゴケ群落など貴 重な自然が残されており、登山道は黒姫山登山に利用されて いる。歩道沿線の自然環境を維持し、良好な風致の維持を図 る必要性の高い地区である。 | 675 |
| 古池・種池 | 長野県上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1024 林班の一部 | 黒姫山南麓に位置し、古池や種池が優れた湖沼景観を有 し、ミズバショウ、ヨシ等の湿原植生がみられる。池とその 周辺をあわせて一帯の風致の維持を図るとともに、池の形状 と水質の保全に努める。これらの良好な風致の維持を図る必 要性の高い地区である。 | 167 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|--------|--|--|----------|
| 飯縄山 | <p>長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1034 林班、1035 林班及び 1040 林班から 1045 林班までの各一部 長野県上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1033 林班から 1036 林班まで及び 1038 林班の各一部 長野県上水内郡飯綱町内 国有林北信森林管理署 1038 林班から 1040 林班までの各一部 長野県長野市 大字戸隠字久保、字堂前林及び字向林の全部並びに字宝光社の一部、大字豊岡字飯綱山、字潜水、字長峰、字藤倉、字道下、字柄沢及び字鳥居沢の各一部</p> | <p>飯縄山の山腹及び登山道で構成され、コメツガ等の亜高山針葉樹林を有しており、登山道は飯縄山登山に利用されている。</p> <p>利用施設周辺の良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。</p> | 1,104 |
| 戸隠神社中社 | <p>長野県長野市 大字戸隠字中社、字大科及び字東谷の全部</p> | 山岳信仰と結びついて発展してきた戸隠神社と同名の集落で構成され、門前町としての独特な集落景観を形成しており、良好な風致の持続を図る必要性の高い地区である。 | 150 |
| 飯縄ヶ原 | <p>長野県長野市 大字上ヶ屋字麓原及び大字富田字飯綱山の各一部</p> | 飯縄山南麓に位置し、大谷地湿原や飯綱鉄鉱泉などで構成されている。カラマツやシラカンバの人工林のほか湿原植生を有している。これらの良好な風致の持続を図る必要性の高い地区である。 | 237 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|-----|--|--|----------|
| 荒倉山 | 長野県長野市 大字戸隠字入荒倉、字表山、字品沢、字日影、字堀切及び字牧原の全部並びに大字鬼無里字釜岩、大字柄原字釜岩、竜光、大字戸隠豊岡字荒倉山及び字李平の各一部 | 荒倉山系の北端に位置し、山腹には鬼女紅葉伝説に因んだ史跡が点在している。スギの人工林のほか、ウダイカンバ、ミズナラ等広葉樹の自然林を有している。これらの良好な風致の持続を図る必要性の高い地区である。 | 265 |
| 野尻湖 | 長野県上水内郡信濃町 大字富濃字大久保、字神山、字西原、大字野尻字大日影、字神山、字家老路、字狐久保、字城帰、字寺山、字道輪久保、字舟瀬、字舟場、字古海字市川及び字桐久保の全部並びに大字富濃字鳥越、字針ノ木、字細谷、字宮沢、大字野尻字海端、大字古海ケサガ久保、字菅川及び船合の各一部 長野県上水内郡信濃町 野尻湖の全部 | 複雑な湖岸線を有する野尻湖は、その東部が溺谷地形となっているため、出入の激しい美しい景観となっているほか、湖岸沿いにはコナラやミズナラの自然林が残されており、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 967 |
| 合 計 | | | 15,026 |

(エ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|--|---------|
| 新潟県 | 糸魚川市 大字大平字シモナカセ、字センナミ、字シキダシの全部並びに 字アトサカ、字イケノヒラ、字カケアラセ、字カミナカゼ、字 ソデガワラ、字ナカセカワラ及び字ヲウソデの各一部 | 12 |
| | 妙高市内 国有林上越森林管理署 20 林班から 22 林班まで、28 林班、29 林班及び 60 林班の全部並びに 14 林班から 19 林班まで、23 林 班、25 林班、27 林班、30 林班、32 林班から 39 林班まで、45 林班、50 林班、53 林班から 59 林班まで及び 61 林班から 66 林 班までの各一部 | |
| | 妙高市 大字赤倉字一本木、字北、字郷田切、字広、字前沖、字南、大 字関川字大野、字コハク平、字小屋場及び字平石の全部並びに 大字毛祝坂字大揚、字北二ッ沢、南二ッ沢、大字坂口新田字大 戸、大字杉野沢字宇棚、字西野、字高野、字抜井、字谷内畠、 大字関川字いもり池、字大中島、字鎌谷内、字都々女喜、字畠 野、字鳩胸、字山拓谷内、大字関山字大洞原、字坪岳、字柏木 原、字妙高山、大字田口字一本樽、大字二俣字ウト山及び字西 熊堂の各一部 | 6,901 |
| | 小 計 | 6,913 |
| 長野県 | 長野市内 国有林北信森林管理署 1001 林班及び 1064 林班の全部並びに 1002 林班、1003 林班、1025 林班から 1032 林班まで、1034 林 班、1035 林班、1040 林班から 1050 林班まで及び 1054 林班か ら 1059 林班、1065 林班及び 1066 林班の各一部 国有林上越森林管理署 66 林班の一部 長野市 大字戸隠字池ノ谷、字帰岩、字軍勢、字逆木、字城平、字勝負 平、字堤、字東矢配平、矢背畠、字矢配平及び戸隠豊岡字道上 の全部並びに大字北郷、大字中曾根、大字戸隠字大木、字掛札、 字中島及び字西原の各一部 | 5,588 |

| 都道府県名 | 区 域 | 面積 (ha) |
|-------|--|---------|
| 長野県 | 北安曇郡小谷村内 国有林中信森林管理署 609 林班及び 613 林班の全部並びに 607 林班、608 林班及び 610 林班から 612 林班までの各一部 | 1,033 |
| | 上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1002 林班から 1009 林班まで、1011 林班、1012 林班、1014 林班、1015 林班、1018 林班、1021 林班から 1024 林班まで及び 1033 林班から 1038 林班までの各一部 | 2,648 |
| | 上水内郡飯綱町内 国有林北信森林管理署 1038 林班から 1040 林班までの各一部 上水内郡飯綱町 大字川上字靈仙寺山の一部 | 200 |
| | 小 計 | 9,469 |
| 合 計 | | 16,382 |

(表9：第3種特別地域内訳表)

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|--------|--|--|----------|
| 太田切川北部 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 20 林班から 22 林班までの全部並びに 14 林班から 19 林班まで、23 林班及び 25 林班の各一部 新潟県妙高市 大字坂口新田字大戸、大字関山字大洞 原、字坪岳、字柏木原及び字妙高山の各 一部 | 神奈山の北東斜面であり、火山の溶岩流が堆積してできた地形となっており、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1,708 |
| 赤倉 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 28 林班の全部並びに 27 林班、29 林班 及び 30 林班の各一部 新潟県妙高市 大字赤倉字一本木、字北、字郷田切、字 広、字前沖及び字南の全部並びに大字関 山字妙高山、大字二俣字ウト山及び字西 熊堂の各一部 | 赤倉温泉及び赤倉スキー場が含まれる区域となっている。国道 18 号線や上信越自動車道、信越本線沿線から妙高連峰を望んだときによく展望できる地域で、スギ人工林のほかカヤ場、灌木類が多く、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 868 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|-------|--|---|----------|
| 池の平 | 新潟県妙高市 大字関川字大野及び字平石の全部並びに大字毛祝坂字大場、字北二ッ沢、字南二ッ沢、大字関川字いもり池、字コクハ平、字小屋場、字大中島、字鎌谷内、字、都々女喜、字畠野、字鳩胸、字山拓谷内及び大字田口字一本樽の各一部 | 池の平温泉及びスキー場が含まれる区域であり、いもり池周辺の散策客が多く利用し、スギの人工林が多い。利用施設周辺の風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 544 |
| 五八木 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 32 林班及び 33 林班の各一部 新潟県妙高市 大字杉野沢字高野、字西野、字抜井及び字谷内畠の各一部 | 杉野原スキー場が含まれる区域であり、県道脇の展望地から等を 杉野原スキー場が含まれる区域であり、県道脇の展望地から等を くる。スギ人工林やミズナラ、カエデ類林が分布しており、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 554 |
| 笹ヶ峰北部 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 34 林班から 36 林班までの各一部 | 三田原山南斜面の標高 1,400m から 1,900m の間の区域で、 笹ヶ峰方面から妙高連峰（北側）を望見する際の主要展望方向（山頂部は見えない）となっており、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 392 |
| 笹ヶ峰山 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 36 林班から 39 林班までの各一部 | 真川の上流部に辺り、笹ヶ峰キャンプ場や乙見湖付近からの重要な景観地となっている。 笹ヶ峰（1,544m）を中心にかつて林業が栄えた地域となっている。また、周辺に比べて昆虫の種類が豊富である。 | 385 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|------------------|---|--|----------|
| 赤尾岳 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 45 林班及び 50 林班の各一部 | 赤尾岳を中心としたトウヒやモミなどの林業対象区であり、林業との調整を図る必要のある地区である。 | 213 |
| ニグロ川上流 | 新潟県妙高市 国有林上越森林管理署 60 林班の全部並びに 53 林班から 56 林班、58 林班、59 林班及び 61 林班から 63 林班までの各一部 | ニグロ川上流部に辺り、笹ヶ峰キャンプ場や乙見湖付近からの重要な景観地となっており、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1,430 |
| 笹ヶ峰南部 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 57 林班の一部 | 笹ヶ峰ダムの下の真川沿いの地区で平坦な地形をなし、林業対象区となっており、林業との調整を図る必要のある地区である | 295 |
| ひょうさわがわ 永沢川上流 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 64 林班から 66 林班までの各一部 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1066 林班の一部 国有林上越森林管理署 66 林班の一部 | 永沢川の集水域から佐渡山の南麓までの区域であり豊富な昆虫類が確認されており、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 558 |
| 笹ヶ峰牧場東部 | 新潟県妙高市 大字杉野沢字宇棚の一部 | ドイツトウヒの大木の林で、独特の景観をなしており、森林セラピーをはじめとした遊歩道が整備されている。これらの風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 3 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|--------------|--|---|----------|
| 三本木 さんぼんぎ | 新潟県妙高市 大字杉野沢字西野の一部 | シブタミ川沿いの平坦地。官行造林地でスギの造林地である。林業との調整を図る必要のある地区である。 | 68 |
| 笹倉 | 新潟県糸魚川市 大字大平字シモナカセ、字センナミ及び字ツキタシの全部並びに字アトサカ、字イケノヒラ、字カケアラセ、字ナカセカワラ、字ヲウソデ、字カミナカゼ及び字ソデガワラの各一部 | 公園区域の最北端の平坦部であり、農地に囲まれた笹倉温泉があり、利用基地として重要な場所であり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 12 |
| 雨飾山 天狗原山 | 長野県北安曇郡小谷村内 国有林中信森林管理署 609 林班及び 613 林班の全部並びに 607 林班、608 林班及び 610 林班から 612 林班までの各一部 | 雨飾山から天狗原山及び松尾山の南側の山腹で、ブナやミズナラ等広葉樹林を有しており、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 1,033 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|--------|--|---|----------|
| 戸隠連峰山麓 | 長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1001 林班、1064 林班の全部及び 1002 林班、1003 林班、1025 林班から 1028 林班、1046 林班から 1050 林班、1054 林班、1059 林班、1065 林班及び 1066 林班の各一部 長野県長野市 大字戸隠字池ノ谷、字帰岩、字軍勢、字 逆木、字城平、字勝負平、字堤、字東矢 配平、字背畝、字矢配平の全部並びに大 字戸隠字大木、字掛札、字中島、字西原 及び大字戸隠豊岡字道上の各一部 | 戸隠連峰東麓部に位置し、カラマツ、シラカンバの人工林 のほか、ブナやミズナラ等広葉樹林を有しており、風致の維 持を図る必要性の高い地区である。 | 3, 416 |
| 黒姫山麓 | 長野県上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1002 林班から 1009 林班、1011 林班、 1012 林班、1014 林班、1015 林班、1018 林班、1021 林班から 1024 林班までの 各一部 | 黒姫山山腹部に位置し、カラマツ、シラカンバの人工林の ほか、ブナ、ミズナラ等広葉樹林を有しており、風致の維持 を図る必要性の高い地区である。 | 1, 722 |

| 名 称 | 区 域 | 地 区 の 概 要 | 面積 (h a) |
|------|---|--|----------|
| 飯縄山麓 | <p>長野県長野市内 国有林北信森林管理署 1029 林班から 1032 林班、1035 林班及び 1040 林班から 1043 林班及び 1045 林班までの各一部 長野県長野市 大字戸隠豊岡字道上、大字北郷、大字中曾根の各一部 長野県上水内郡信濃町内 国有林北信森林管理署 1033 林班から 1038 林班までの各一部 長野県上水内郡飯綱町内 国有林北信森林管理署 1038 林班から 1040 林班までの各一部 長野県上水内郡飯綱町 大字川上字靈仙寺山の一部</p> | 飯縄山山腹部に位置し、カラマツ、シラカンバの人工林のほか、ブナ、ミズナラ等広葉樹林を有しており、風致の維持を図る必要性の高い地区である。 | 3, 181 |
| | 合 | 計 | 16, 382 |

イ 関連事項

(ア) 採取等規制植物

採取又は損傷を規制する植物を次のとおりとする。

(表 10 : 採取等規制植物表)

| 科名 | 種名（ミズゴケ科の植物にあっては属名） |
|---------|---|
| ミズゴケ | ミズゴケ属 |
| ヒカリゴケ | ヒカリゴケ |
| ヒカゲノカズラ | ミヤマヒカゲノカズラ、ヒメスギラン、スギラン、マンネンスギ、コスギラン、タカネヒカゲノカズラ |
| イワヒバ | エゾヒメクラマゴケ、コケスギラン、ヒモカズラ、イワヒバ |
| ミズニラ | ヒメミズニラ |
| ハナヤスリ | ヒメハナワラビ、エゾフユノハナワラビ |
| イノモトソウ | ミヤマウラジロ、フジシダ |
| オシダ | ナンタイシダ、オクヤマワラビ、ナヨシダ、ウサギシダ、イワウサギシダ、タチヒメワラビ、トガクシデンダ、コガネシダ |
| シシガシラ | ミヤマシシガシラ |
| チャセンシダ | アオチャセンシダ、クモノスシダ |
| ウラボシ | ミヤマウラボシ、イワオモダカ |
| マツ | ハイマツ |
| ヒノキ | ミヤマビヤクシン、ホンドミヤマネズ |
| イチイ | キャラボク |
| ツチトリモチ | ミヤマツチトリモチ |
| タデ | イブキトラノオ、ハルトラノオ、ムカゴトラノオ、ウラジロタデ、オンタデ、タカネスイバ |
| ナデシコ | カトウハコベ、タガソデソウ、ミヤマミミナグサ、シナノナデシコ、エゾカワラナデシコ、タカネナデシコ、センジュガシピ、タカネツメクサ、コバノツメクサ、ワダソウ、ヒゲネワチガイ、エゾフスマ |

| 科名 | 種名（ミズゴケ科の植物にあっては属名） |
|---------|---|
| モクレン | オオヤマレンゲ |
| キンポウゲ | オオレイジンソウ、ハコネトリカブト、レイジンソウ、オンタケブシ、イヌハコネトリカブト、アズマレイジンソウ、ホソバトリカブト、ミョウコウトリカブト、ジョウシュウトリカブト、タカネトリカブト、フクジュソウ、ヒメイチゲ、ハクサンイチゲ、ミスミソウ、イチリンソウ、キクザキイチリンソウ、アズマイチゲ、サンリンソウ、エゾイチゲ、レンゲショウマ、ミヤマオダマキ、リュウキンカ、ミヤマハンショウヅル、カザグルマ、トリガタハンショウヅル、バイカオウレン、ミツバオウレン、ミツバノバイカオウレン、シラネアオイ、アズマシロカネソウ、トウゴクサバノオ、オキナグサ、ミヤマキンポウゲ、イチョウバイカモ、イトキンポウゲ、ミヤマカラマツ、シギンカラマツ、モミジカラマツ、キンバイソウ、シナノキンバイ、ヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤク |
| メギ | サンカヨウ、クモイイカリソウ、トキワイカリソウ、ウラジロイカリソウ、トガクシショウマ |
| スイレン | ヒツジグサ |
| ウマノスズクサ | コシノカンアオイ、ウスバサイシン |
| オトギリソウ | オクヤマオトギリ、コオトギリ、ニッコウオトギリ、イワオトギリ、ミヤマオトギリ、トガクシオトギリ |
| モウセンゴケ | モウセンゴケ |
| ケシ | エゾエンゴサク、コマクサ、オサバグサ |
| アブラナ | ミヤマハタザオ、フジハタザオ、イワハタザオ、ミヤマガラシ、トガクシナズナ |
| ベンケイソウ | ツメレンゲ、ホソバイワベンケイ、イワベンケイ、ミヤママンネングサ、チチッパベンケイ |
| ユキノシタ | ハナチダケサシ、アラシグサ、ハナネコノメ、コシノチャルメルソウ、ヒメウメバチソウ、オオシラヒゲソウ、シラヒゲソウ、ウメバチソウ、ヤシャビシヤク、シコタンソウ、ヒメクモマグサ、ダイモンジソウ、ミヤマダイモンジソウ、ウラベニダイモンジソウ、クロクモソウ、フキユキノシタ、ハルユキノシタ |
| バラ | シモツケソウ、ノウゴウイチゴ、シロバナノヘビイチゴ、ミヤマダイコンソウ、チングルマ、エゾノコリンゴ、イワキンバイ、キンロバイ、ミヤマキンバイ、ウラジロキンバイ、クロバナロウゲ、ミネザクラ、オオタカネイバラ、タカネイバラ、カラフトイバラ、コガネイチゴ、ベニバナイチゴ、キビナワシロイチゴ、タカネトウウチソウ、イワシモツケ、マルバイワシモツケ |

| 科名 | 種名（ミズゴケ科の植物にあっては属名） |
|--------|--|
| マメ | ムラサキモメンヅル、イワオウギ、シャジクソウ |
| フウロソウ | グンナイフウロ、アサマフウロ、コフウロ、ハクサンフウロ |
| トウダイグサ | ハクサンタイゲギ |
| ジンチョウゲ | ナニワズ |
| スミレ | キバナノコマノツメ、ウスバスミレ、チシマウスバスミレ、オオバキスミレ、ミヤマキスミレ、エゾアオイスミレ、タカネスミレ、ナエバキスミレ、ミヤマスミレ、ヒメスミレサイシン |
| アカバナ | アシボソアカバナ、ヒメアカバナ、ミヤマアカバナ |
| ミズキ | ゴゼンタチバナ |
| セリ | イワニンジン、イワテトウキ、ミシマサイコ、ハクサンサイコ、ミヤマゼンゴ、ミヤマセンキョウ、イブキゼリ、ミヤマニンジン、ハクサンボウフウ、オオカサモチ、タカネイブキボウフウ、シラネニンジン、ミヤマウイキョウ |
| イワウメ | イワウメ、ヒメイワカガミ、イワカガミ、イワウチワ |
| イチヤクソウ | ウメガサソウ、シャクジョウソウ、ギンリョウソウモドキ、ギンリョウソウ、コバノイチヤクソウ、ベニバナイチヤクソウ、マルバノイチヤクソウ、ジンヨウイチヤクソウ、コイチヤクソウ |
| ツツジ | ヒメシャクナゲ、クロヒメシャクナゲ、コメバツガザクラ、イワヒゲ、ハリガネカズラ、アカモノ、シラタマノキ、ジムカデ、ミネズオウ、ウラジロヨウラク、ガクウラジロヨウラク、ヒメツルコケモモ、ツルコケモモ、イワナシ、アオノツガザクラ、コツガザクラ、ツガザクラ、ムラサキヤシオ、キバナシャクナゲ、ハクサンシャクナゲ、レンゲツツジ、ホンシャクナゲ、アズマシャクナゲ、サイゴクミツバツツジ、アカヤシオ、オオコメツツジ、コメツツジ、トウゴクミツバツツジ、ミヤマホツツジ、サラサドウダン、ベニサラサドウダン、マルバウスゴ、コケモモ |
| ガンコウラン | ガンコウラン |
| サクラソウ | ヤナギトラノオ、ハクサンコザクラ、クリンソウ、オオサクラソウ、ユキワリソウ、サクラソウ、ツマトリソウ、コツマトリソウ |
| リンドウ | トウヤクリンドウ、オヤマリンドウ、リンドウ、ハルリンドウ、タテヤマリンドウ、エゾリンドウ、エゾオヤ |

| 科名 | 種名（ミズゴケ科の植物にあっては属名） |
|--------|--|
| | マリンドウ、ホロムイリンドウ、ハナイカリ、ホソバツルリンドウ、ムラサキセンブリ、イワイチョウ、ミツガシワ |
| アカネ | ツルアリドオシ |
| ムラサキ | エゾルリソウ、ミヤマムラサキ、ムラサキ |
| シソ | カイジンドウ、ミヤマクルマバナ、ムシャリンドウ、タテヤマウツボグサ、イブキジャコウソウ |
| ナス | アオホオズキ |
| ゴマノハグサ | ミヤマコゴメグサ、ホソバコゴメグサ、トガクシコゴメグサ、ヒメコゴメグサ、オオバミヅホオズキ、ミヤマシオガマ、ヨツバシオガマ、セリバシオガマ、オニシオガマ、トモエシオガマ、エゾシオガマ、ヒメクワガタ、グンバイヅル、ヒメトラノオ、ミヤマクワガタ、テングクワガタ、クガイソウ |
| イワタバコ | イワタバコ |
| ハマウツボ | オニク、キヨスミウツボ |
| タヌキモ | ムシトリスマレ、ヒメタヌキモ、ホザキノミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ |
| オオバコ | ハクサンオオバコ |
| スイカズラ | ベニバナツクバネウツギ、リンネソウ、イボタヒヨウタンボク、コゴメヒヨウタンボク、コウグイスカグラ、オオヒヨウタンボク、キバナウツギ |
| オミナエシ | コキンレイカ |
| マツムシソウ | マツムシソウ、タカネマツムシソウ |
| キキョウ | フクシマシャジン、ヒメシャジン、ミヤマシャジン、イワシャジン、ハクサンシャジン、イワギキョウ、ヤマホタルブクロ、サワギキョウ、タニギキョウ、キキョウ |
| キク | チョウジギク、ウサギギク、ミヤマオトコヨモギ、アサギリソウ、ハコネギク、タカネコンギク、カニコウモリ、オクヤマコウモリ、イワインチン、モリアザミ、ホソエノアザミ、オニアザミ、ヤツガタケアザミ、ジョ |

| 科名 | 種名（ミズゴケ科の植物にあっては属名） |
|--------|--|
| | ウシュウオニアザミ、ヤチアザミ、ニッコウアザミ、オキナアザミ、エゾムカシヨモギ、アズマギク、ミヤマアズマギク、ジョウシュウアズマギク、ハコネヒヨドリ、ミヤマコウゾリナ、ミズギク、タカネニガナ、クモマニガナ、ホソバヒナウスユキソウ、ウスユキソウ、ミネウスユキソウ、マルバダケブキ、オタカラコウ、カンチコウゾリナ、オオニガナ、ミヤマキタアザミ、カルイザワトウヒレン、ミヤコアザミ、シラネアザミ、クロトウヒレン、アサマヒゴタイ、ミヤマトウヒレン、ヒメヒゴタイ、ヤハズトウヒレン、ヤハズヒゴタイ、キクアザミ、コウリンカ、ダキバキオン、サワオグルマ、タカネコウリンカ、ミヤマアキノキリンソウ、ミヤマタンポポ |
| ユリ | ネバリノギラン、シロウマアサツキ、シブツアサツキ、ミヤマラッキョウ、ツバメオモト、スズラン、カタクリ、ミヤマクロユリ、ヒメアマナ、キバナノアマナ、キスゲ、アサマキスゲ、ニッコウキスゲ、イワギボウシ、トウギボウシ、オゼソウ、ササユリ、コオニユリ、ホソバコオニユリ、クルマユリ、チシマアマナ、ホソバノアマナ、ヒメマイヅルソウ、キンコウカ、キヌガサソウ、クルマバツクバネソウ、ワニグチソウ、ヤマトユキザサ、ハルナユキザサ、ヒロハユキザサ、オオバタケシマラン、チシマゼキショウ、イワショウブ、ハナゼキショウ、ヒメイワショウブ、タマガワホトトギス、エンレイソウ、ミヤマエンレイソウ、アマナ、タカネシュロソウ、タカネアオヤギソウ、コバイケイ |
| アヤメ | ヒオウギアヤメ |
| イグサ | ミヤマホソコウガイゼキショウ、タカネスズメノヒエ |
| ホシクサ | ノゾリホシクサ |
| イネ | コミヤマヌカボ、ミヤマヌカボ、タカネコウボウ、ヒゲノガリヤス、ミヤマノガリヤス、タカネウシノケグサ、ミヤマドジョウツナギ |
| サトイモ | カルイザワテンナンショウ、ヒメカイウ、ミズバショウ、ヒメザゼンソウ、ザゼンソウ |
| ミクリ | ホソバタマミクリ |
| カヤツリグサ | タテヤマスゲ、ハクサンスゲ、クリイロスゲ、イトキンスゲ、コハリスゲ、タカネハリスゲ、ダケスゲ、キンスゲ、イワスゲ、クモマシバスゲ、ヌイオスゲ、サギスゲ、ワタスゲ、ヒゲハリスゲ、ミネハリイ、ミヤマホタルイ |

| 科名 | 種名（ミズゴケ科の植物にあっては属名） |
|----|--|
| ラン | コアニチドリ、ミスズラン、エビネ、キンセイラン、ナツエビネ、キソエビネ、サルメンエビネ、ギンラン、キンラン、ササバギンラン、アオチドリ、サイハイラン、シュンラン、コアツモリ、アツモリソウ、キバナノアツモリソウ、イチヨウラン、サワラン、コイチヨウラン、アオスズラン、カキラン、オニノヤガラ、アケボノシュスラン、ヒメミヤマウズラ、ミヤマウズラ、シュスラン、ノビネチドリ、テガタチドリ、ミヤマモジズリ、オオミズトンボ、ミズトンボ、ムカゴソウ、セイタカスズムシ、ジガバチソウ、クモキリソウ、スズムシソウ、フタバラン、ミヤマフタバラン、ホザキイチヨウラン、アリドオシラン、サカネラン、ハクサンチドリ、カモメラン、オノエラン、ウチョウラン、ニヨホウチドリ、コケイラン、ジンバイソウ、ミズチドリ、ツレサギソウ、ヤマサギソウ、マイサギソウ、タカネサギソウ、オオバノトンボソウ、コバノトンボソウ、キソチドリ、ナガバキソチドリ、オオヤマサギソウ、ミヤマチドリ、ホソバノキソチドリ、トキソウ、ヒトツボクロ、トンボソウ、ショウキラン |

(イ) 乗入れ規制区域及び期間

車馬もしくは動力船を使用し、又は航空機を着陸させることを規制する区域及び期間を次のとおりとする。

(表 11：乗入れ規制区域及び期間表)

| 名 称 | 区 域 | 地種区分 | 区域の概要 | 面積 (ha) | 期 間 |
|-----|--|-------------------------------------|--|---------|-----|
| 笹ヶ峰 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理署 35 林班、40 林班及び 43 林班の全部 並びに 31 林班、34 林班、36 林班から 39 林班まで、41 林班、42 林班、44 林班及び 49 林班の各一部 新潟県妙高市 大字杉野沢の一部 (以上の区域のうち、道路、広場、田、畠、牧場及び宅地の区域を除く。) | 第 1 種特別地域 第 2 種特別地域 第 3 種特別地域 | 妙高山、火打山、焼山山麓から笹ヶ峰に至るなだらかな傾斜地で、落葉広葉樹に一部オオシラビソ等の針葉樹も含む森林地帯となっている。 指定地域の上部には、黒沢池、高谷池等の高層湿原があり、また、ライチョウの生息する地域でもあることから、こうした自然環境を保全するため乗入れ規制地域を指定する。 | 2,568 | 通年 |

ウ 面積内訳

地域地区別土地所有別及び市町村別面積は次のとおりとなる。

(表 12 : 地域地区別土地所有別面積総括表)

(単位 : 面積 ha、比率%)

| 地 域 区 分 | | | 特 別 地 域 | | | | | | | | | | | | 普通地域 (陸域) | | | 海 域 公 園 地 区 | | |
|---------|-------------|----------------|---------|---|------------------|-------|---|-------------------|-------|-------|-------------------|-------|-------|------------|--------------|---|----------|-------------|-------------|----------|
| 地 種 区 分 | | | 特別保護地区 | | | 第 1 種 | | | 第 2 種 | | | 第 3 種 | | | | | | | 海 域 公 園 地 区 | |
| 土地所有別 | | | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 海 域 公 園 地 区 | | |
| 新潟県 | 土地所有別面積 | 2,368 | 0 | 0 | 3,384 | 0 | 8 | 7,158 | 608 | 1,003 | 5,151 | 95 | 1,667 | 0 | 0 | 0 | 18,061 | 703 | 2,678 | 0ヶ所 0 |
| | 地種区分別面積 | 2,368 | | | 3,392 | | | 8,769 | | | 6,913 | | | 0 | | | 0ヶ所 0 | | | |
| | 地域地区別面積 | | | | 2,368 | | | 19,074 | | | 21,442 | | | | | | | 0ヶ所 0 | | |
| | 地域別面積 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0ヶ所 0 | | |
| 長野県 | 土地所有別面積 | 1,184 | 0 | 0 | 1,420 | 0 | 0 | 3,427 | 934 | 1,896 | 8,862 | 111 | 496 | 0 | 0 | 0 | 14,893 | 1,045 | 2,392 | 0ヶ所 0 |
| | 地種区分別面積 | 1,184 | | | 1,420 | | | 6,257 | | | 9,469 | | | 0 | | | 0ヶ所 0 | | | |
| | 地域地区別面積 | | | | 1,184 | | | 17,146 | | | 18,330 | | | | | | | 0ヶ所 0 | | |
| | 地域別面積 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0ヶ所 0 | | |
| 合計 | 土地所有別面積 | 3,552 | 0 | 0 | 4,804 | 0 | 8 | 10,585 | 1,542 | 2,899 | 14,013 | 206 | 2,163 | 0 | 0 | 0 | 32,954 | 1,748 | 5,070 | 0ヶ所 0 |
| | 地種区別面積(比率) | 3,552 (8.9) | | | 4,812 (12.1) | | | 15,026 (37.8) | | | 16,382 (41.2) | | | 0 (0.0) | | | 0ヶ所 0 | | | |
| | 地域地区別面積(比率) | | | | 36,220 (91.1) | | | 39,772 (100.0) | | | 39,772 (100.0) | | | | | | 0ヶ所 0 | | | |
| | 地域別面積(比率) | | | | | | | | | | | | | | | | | 0ヶ所 0 | | |

(表 13 : 地域地区別市町村別面積総括表)

(単位 : 面積 ha)

| 地域区分 | | 特別地域 | | | | | 普通地域 (陸域) | 合計 (陸域) |
|------|----------|-------|-------|--------|--------|--------|--------------|------------|
| 市町村名 | | 特保 | 第1種 | 第2種 | 第3種 | 小計 | | |
| 新潟県 | 糸魚川市 | 563 | 1,624 | 3,076 | 12 | 5,275 | 0 | 5,275 |
| | 妙高市 | 1,805 | 1,768 | 5,693 | 6,901 | 16,167 | 0 | 16,167 |
| 小計 | | 2,368 | 3,392 | 8,769 | 6,913 | 21,442 | 0 | 21,442 |
| 長野県 | 長野市 | 1,103 | 696 | 2,817 | 5,588 | 10,204 | 0 | 10,204 |
| | 北安曇郡 小谷村 | 0 | 681 | 1,379 | 1,033 | 3,093 | 0 | 3,093 |
| | 上水内郡 信濃町 | 81 | 41 | 1,968 | 2,648 | 4,738 | 0 | 4,738 |
| | 飯綱町 | 0 | 2 | 93 | 200 | 295 | 0 | 295 |
| 小計 | | 1,184 | 1,420 | 6,257 | 9,469 | 18,330 | 0 | 18,330 |
| 合計 | | 3,552 | 4,812 | 15,026 | 16,382 | 39,772 | 0 | 39,772 |

3 事業計画

(1) 施設計画

ア 保護施設計画

保護施設計画を次のとおりとする。

(表 14 : 保護施設表)

| 番 号 | 種 類 | 位 置 | 整備方針 |
|-----|------|-----------------|--|
| 1 | 砂防施設 | 新潟県妙高市 (池の平) | 砂防施設を設置することにより、土砂流入のため陸化しつつあるいは池の景観の保全を図る。 |

イ 利用施設計画

(ア) 集団施設地区

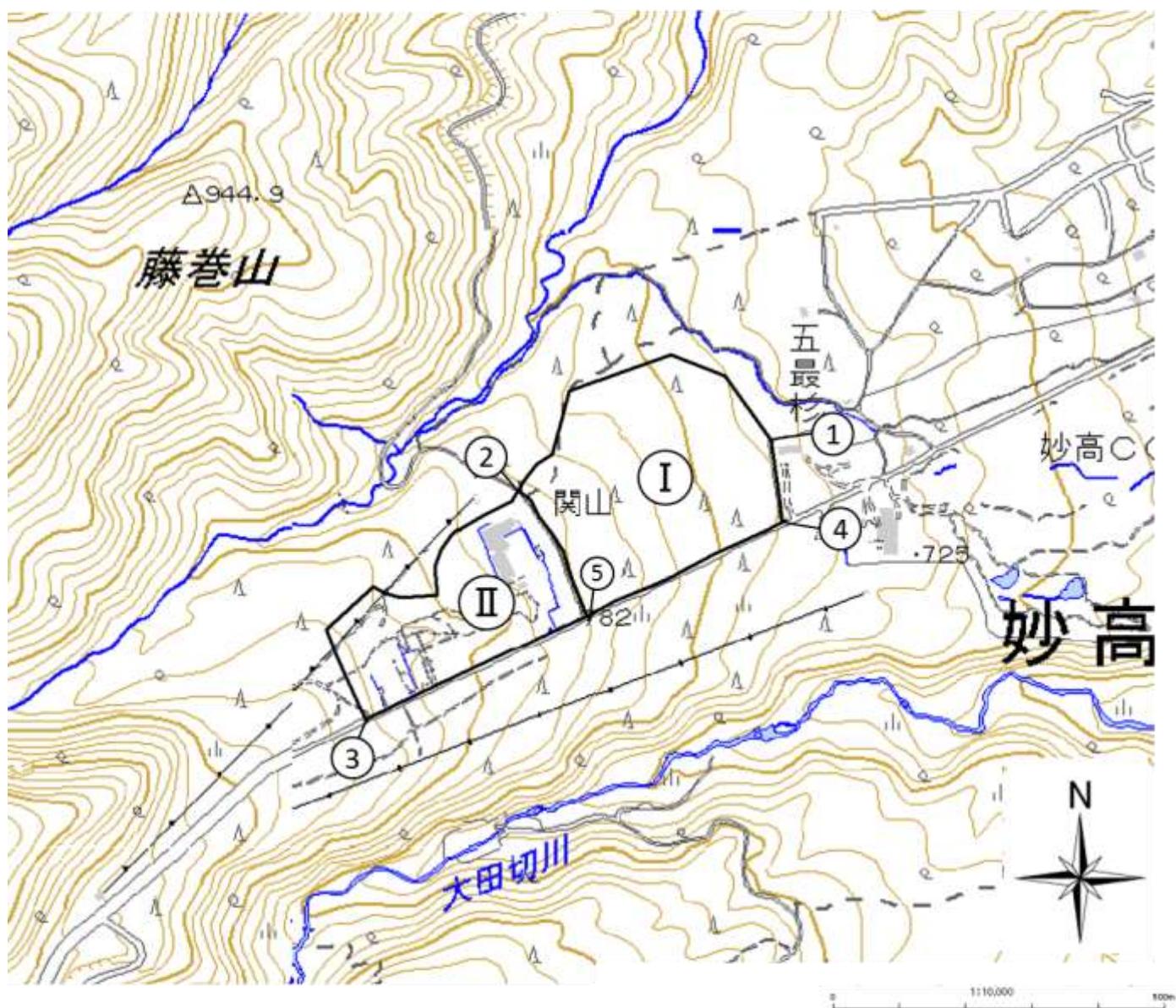
集団施設地区を次のとおりとする。

(表 15 : 集団施設地区表)

| 番号 | 名 称 | 区 域 | 計画目標 | 整備 計画 区 及び基盤施設 | 整 備 方 針 | 面積(ha) |
|----|-----|---|---|-------------------|--|---------------------------|
| 1 | 五最杉 | 新潟県妙高市内 国有林上越森林管理 署 23 林班の一部 新潟県妙高市 大字関山の一部 | 当地区は、妙高山東麓の関、燕温泉へ通じる関山燕線道路（車道）沿線のなだらかな傾斜地に位置し、妙高山の展望に優れた滞在拠点である。 この恵まれた景観を活かし、休暇村として妙高山東麓における宿泊、園地等の施設を計画し、また、自然探勝、野外運動等の施設を計画するものとする。 | 東部整備計画区 | 野外運動及び自然探勝を楽しむことを主体とした計画区である。運動広場、テニスコート、休憩所、自然探勝路等の整備を図る。 | 10.8 |
| | | | | 西部整備計画区 | 妙高山の展望を楽しみながら、快適な宿泊、休憩等を行うための計画区である。 本地区の中核施設である宿舎を中心に、展望休憩を目的とした園地、駐車場等の整備を図る。 | 5.8 |
| | | | | 面 積 計 | | 国 公 私 16.6 一 一 16.6 |

上信越高原国立公園西部地域(名称未定) 利用施設計画図(集団施設地区区域図)

五最杉集団施設地区



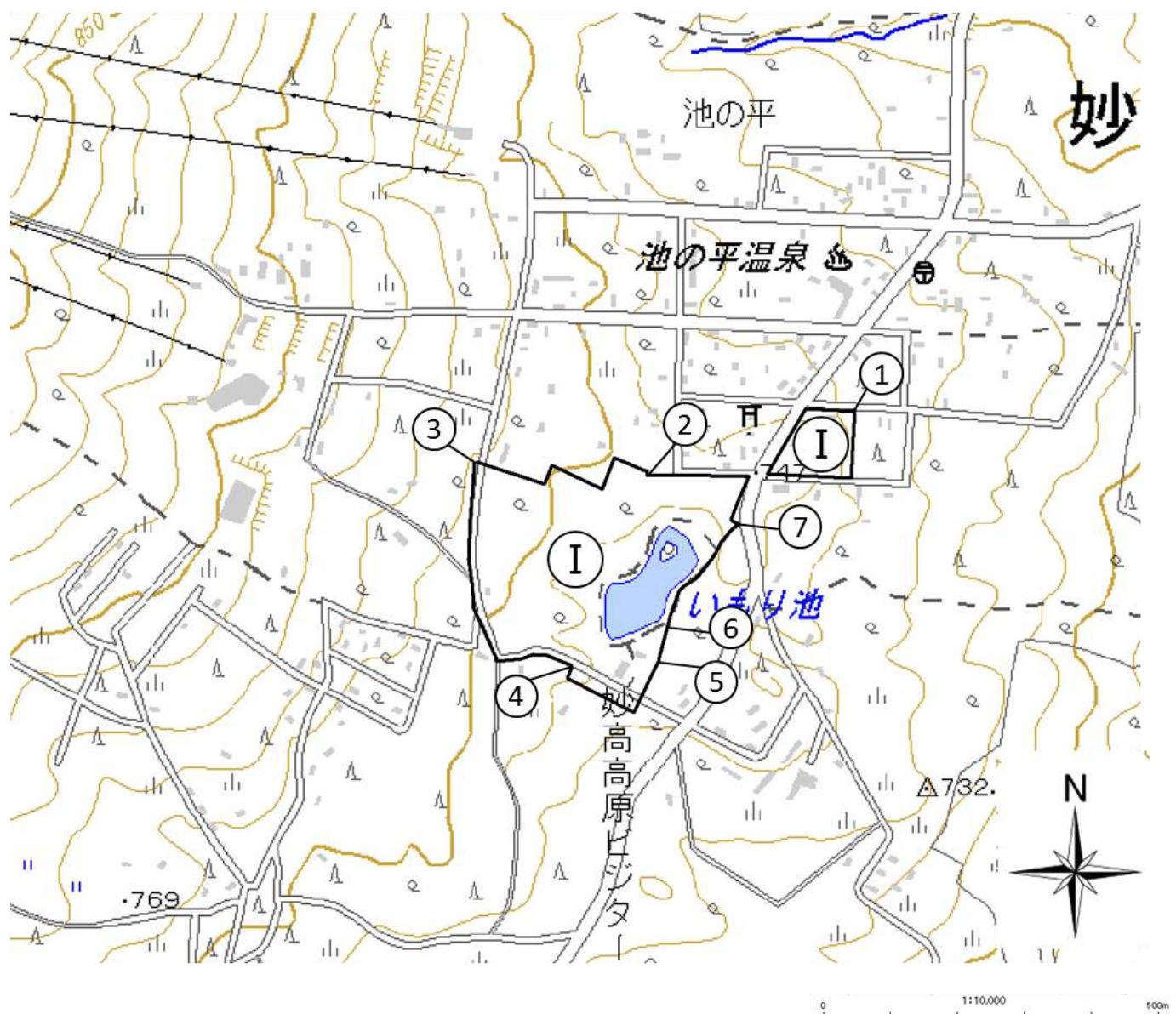
| 凡 例 | |
|-----|---------|
| ① | 東部整備計画区 |
| ② | 西部整備計画区 |

| 区 域 | |
|-----|----------------|
| ①-② | 小 班 界 |
| ②-③ | 土地所有界(林野庁と環境省) |
| ③-④ | 道 路 敷 (除) 界 |
| ④-① | 土地所有界(林野庁と民地) |
| 地 割 | |
| ②-⑤ | 土地所有界(林野庁と環境省) |

| 番号 | 名 称 | 区 域 | 計画目標 | 整備計画区 及び基盤施設 | 整 備 方 針 | 面積(ha) | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-------------------|--|-----------------|--|--------|---|---|---|-----|-----|-----|--|--|-----|--|--|--|
| 2 | いもり池 | 新潟県妙高市 大字関川の一部 | <p>当地区は妙高山の東山麓に位置し、池の平と呼ばれる地区である。シラカンバ林といもり池を中心とした区域からは当該地域の核心である妙高山の風景展望に優れ、また、池周辺にはミズバショウ、ミツガシワ等の湿性植物が豊富に見られる。</p> <p>国立公園の入口部に位置し、交通アクセスも良い立地条件を活かし、多様な利用ニーズに対応できる利用拠点として博物展示施設や休憩所等の施設を効果的かつ計画的に整備する。また妙高地区における国立公園の協働型管理運営及び周辺地区との連携の拠点として整備する。</p> | いもり池整備計画区 | <p>多様な利用ニーズに対応できる利用拠点として博物展示施設や休憩所、多目的に利用できる広場等の施設を計画的に整備する。また妙高地区における国立公園の協働型管理運営及び周辺地区との連携の拠点として整備する。</p> | 9.9 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | <table border="1"> <tr> <td>面 積 計</td> <td>国</td> <td>公</td> <td>私</td> </tr> <tr> <td>1.2</td> <td>7.9</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>9.9</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 面 積 計 | 国 | 公 | 私 | 1.2 | 7.9 | 0.8 | | | 9.9 | | | |
| 面 積 計 | 国 | 公 | 私 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1.2 | 7.9 | 0.8 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

上信越高原国立公園西部地域(名称未定) 利用施設設計画図(集団施設地区区域図)

いもり池集団施設地区



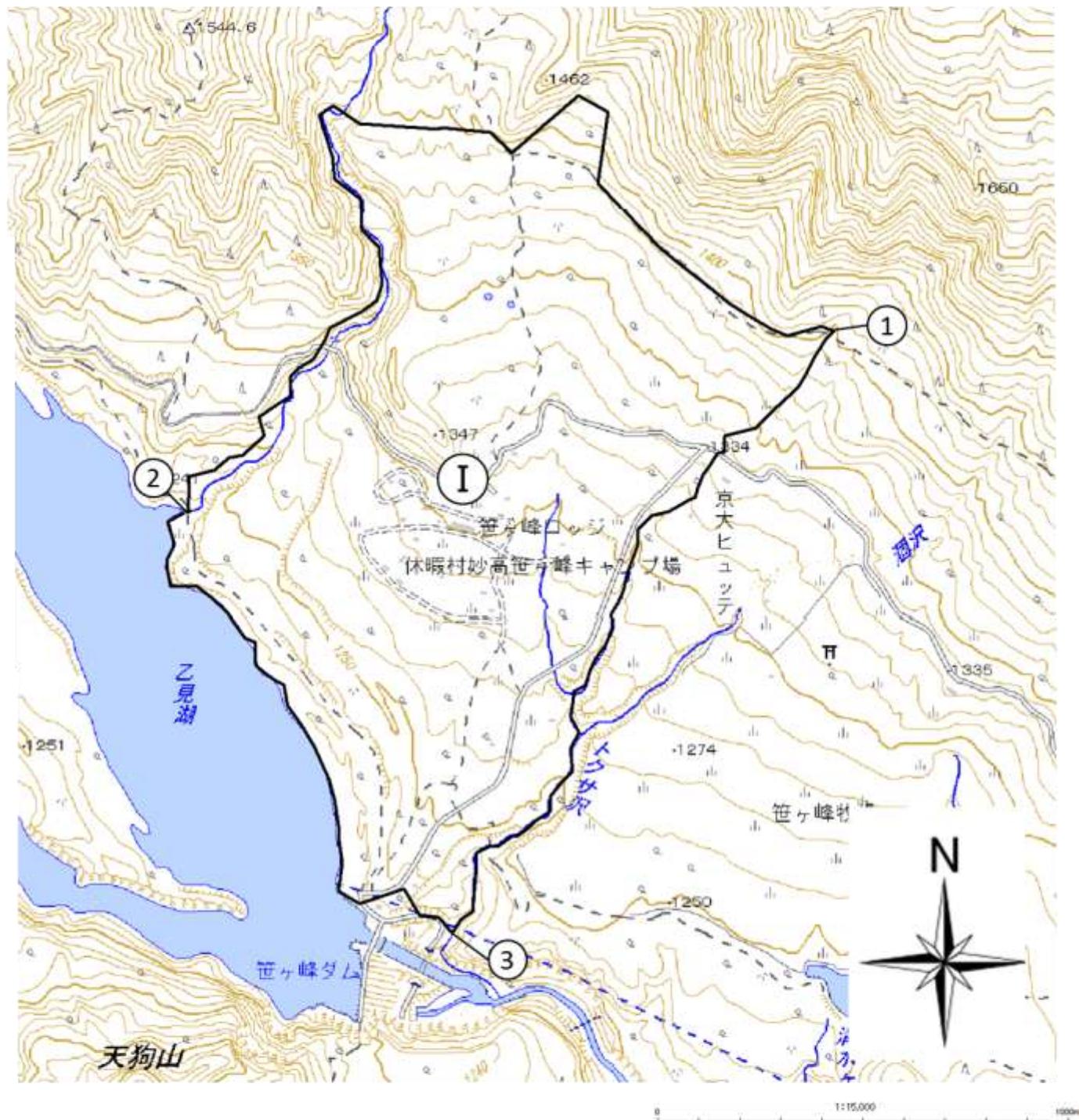
| 凡 例 | |
|-----|-----------|
| (1) | いもり池整備計画区 |

| 区 域 | |
|-----|-------------------|
| ①-① | 地 番 界 |
| ②-③ | 公 有 地 界 (県 有 地) |
| ③-④ | 道 路 敷 (含) 界 |
| ④-⑤ | 公 有 地 界 (市 有 地) |
| ⑤-⑥ | 国 有 地 界 |
| ⑥-⑦ | 道 路 敷 (含) 界 |
| ⑦-② | 道 路 敷 (除) 界 |

| 番号 | 名 称 | 区 域 | 計画目標 | 整備計画区 及び基盤施設 | 整 備 方 針 | 面積(ha) |
|-------|-----|--------------------|--|-----------------|---|--------|
| 3 | 笹ヶ峰 | 新潟県妙高市 大字杉野沢の一部 | <p>当地区は、妙高山の外輪山である三田原山南麓に位置し、関川の源流部にあたるなどから開放的な傾斜地である。当地区の中央部は以前牧場であった草原で、その周辺はブナ・サワグルミ・ハルニレ等の自然林が広がっている。</p> <p>また、当地区は乙見湖に面し、黒姫山、高妻山等の山々を望むことができる。</p> <p>この恵まれた自然環境と景観を活かし、自然探勝やキャンプのための利用拠点及び妙高山、火打山等への登山の利用拠点となるよう施設を計画するものとする。</p> | 笹ヶ峰整備計画区 | <p>自然とのふれあいを推進するために、当計画区の中央部の草地には長期滞在型の快適な野外宿泊拠点としてオートキャンプも可能な野営場の整備を図るとともに、駐車場、親水広場及び自然探勝路等の整備を図る。また、その周辺の林地には自然探勝路、展望台、休憩所等の整備を図る。</p> <p>なお、宿泊施設はテント、ケビン等簡易なものとし、冬季の一般利用は考慮しないものとする。</p> | 86.3 |
| 面 積 計 | | | | | 国 公 私 | |
| 面 積 計 | | | | | — 86.3 — | |
| 面 積 計 | | | | | | 86.3 |

上信越高原国立公園西部地域(名称未定)
利用施設計画図(集団施設地区区域図)

笹ヶ峰集団施設地区



| 凡 例 | |
|-----|----------|
| ① | 笹ヶ峰整備計画区 |

| 区 域 | |
|-----|------------------|
| ①-① | 土地所有界(林野庁と妙高市) |
| ②-③ | 土地所有界(農林水産省と妙高市) |
| ③-① | 沢 界 |

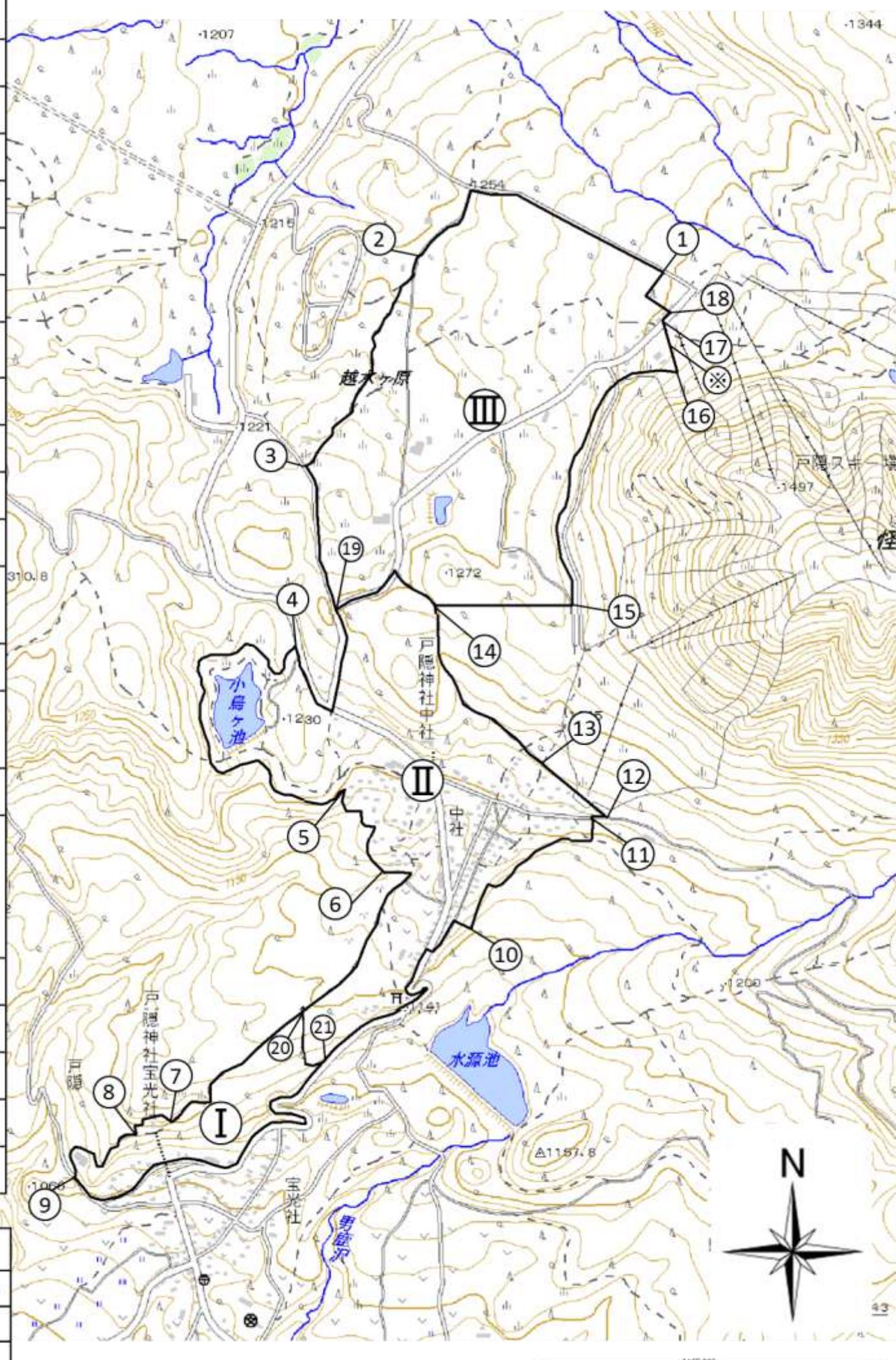
| 番号 | 名 称 | 区 域 | 計画目標 | 整備 計画区 及び基盤施設 | 整 備 方 針 | 面積(ha) |
|----|-----|-----------------|---|-------------------|---|--------|
| 4 | 戸隠 | 長野県長野市 戸隠の一部 | 当地区は、戸隠連峰の南東山麓に位置し、戸隠神社を中心とした門前町としての雰囲気を残す地区である。周辺フィールドを活用した自然探勝の適地であるとともに、戸隠連峰への登山の拠点としても利用されている地区である。 この恵まれた自然及び人文環境を活かし、自然探勝及び登山の拠点地区として、また、国立公園のエントランス地区としての機能を発揮できるよう、宿舎、駐車場、園地、歩道等の他、情報発信施設等を計画する。 | 宝光社整備計画区 | 当地区的南部から中央にかけて位置し、国立公園の玄関口である。戸隠神社宝光社を中心とした門前町としての町並みを残す地区で、周辺散策の利用拠点として宿舎や探勝路等を整備する。 | 14. 4 |
| | | | | 中社整備計画区 | 当地区内の中央に位置する計画区で、当地区の中でも利用の核心部となっている。戸隠神社中社を中心とした門前町の人文探勝のほか、小鳥ヶ池等の自然探勝も楽しむ事ができる。周辺散策や登山の利用拠点として、宿舎、駐車場、園地等を整備する。 | 61. 3 |
| | | | | 越水整備計画区 | 当地区的中央から北部にかけて位置する計画区である。ミズナラやダケカンバ等の森林に囲まれ、静かな雰囲気の中で滞在し、自然探勝を楽しむために必要な宿舎、探勝路等の整備を行う。 | 84. 3 |
| | | | | 道路（歩道） | 当地区内外を有機的に連絡し、自然及び人文の興味地点を巡ることができるよう、歩道網の整備を図る。 | — |
| | | | | 面 積 計 | | |
| | | | | | | 国 公 私 |
| | | | | 0. 1 10. 6 149. 3 | | |
| | | | | | | 160. 0 |

上信越高原国立公園西部地域(名称未定)
利用施設設計画図(集団施設地区区域図)

戸隠集団施設地区

| 区 域 | |
|-----|--|
| ①-② | 道 路 数 (除) 界 |
| ②-③ | 歩 道 敷 (含) 界 |
| ③-④ | 道 路 数 (除) 界 |
| ④-⑤ | 歩 道 中 心 線 より 30m 線 界 |
| ⑤-⑥ | 道 路 中 心 線 より 60m 線 界 |
| ⑥-⑦ | 道 路 (歩 道) 敷 (含) 界 |
| ⑦-⑧ | 戸隠神社宝光社 (建物・駐車場) 敷地 界 |
| ⑧-⑨ | 道 路 数 (含) 界 |
| ⑨-⑩ | 道 路 敷 (除) 界 |
| ⑩-⑪ | 道 路 中 心 線 より 50m 線 界 |
| ⑪-⑫ | 道 路 敷 (除) 界 |
| ⑫-⑬ | N:36°45' E:138°05' 地点(民地東端⑫)と道路分岐⑬を直線で結んだ線 界 |
| ⑬-⑭ | 道 路 敷 (除) 界 |
| ⑭-⑮ | 道路分岐⑭より真東に向かって、国有林界とぶつかった点⑮を結んだ線 界 |
| ⑮-⑯ | 国 有 林 界 |
| ⑯-⑰ | N:36°45'12.55, E:138°05'33.82(戸隠スキー場西端⑰)からN:36°45'10.38, E:138°05'35.25(民地東端⑯)を経由し、国有林界とぶつかった点⑯を結んだ線 界 |
| ⑰-⑱ | 道 路 敷 (除) 界 |
| ⑱-⑲ | 道 路 中 心 線 より 100m 線 界 |
| 地 割 | |
| ⑲-⑳ | 道 路 中 心 線 界 |
| ㉑-㉒ | 歩 道 中 心 線 界 |

| 凡 例 | |
|-----|----------|
| ① | 宝光社整備計画区 |
| ② | 中社整備計画区 |
| ③ | 越水整備計画区 |



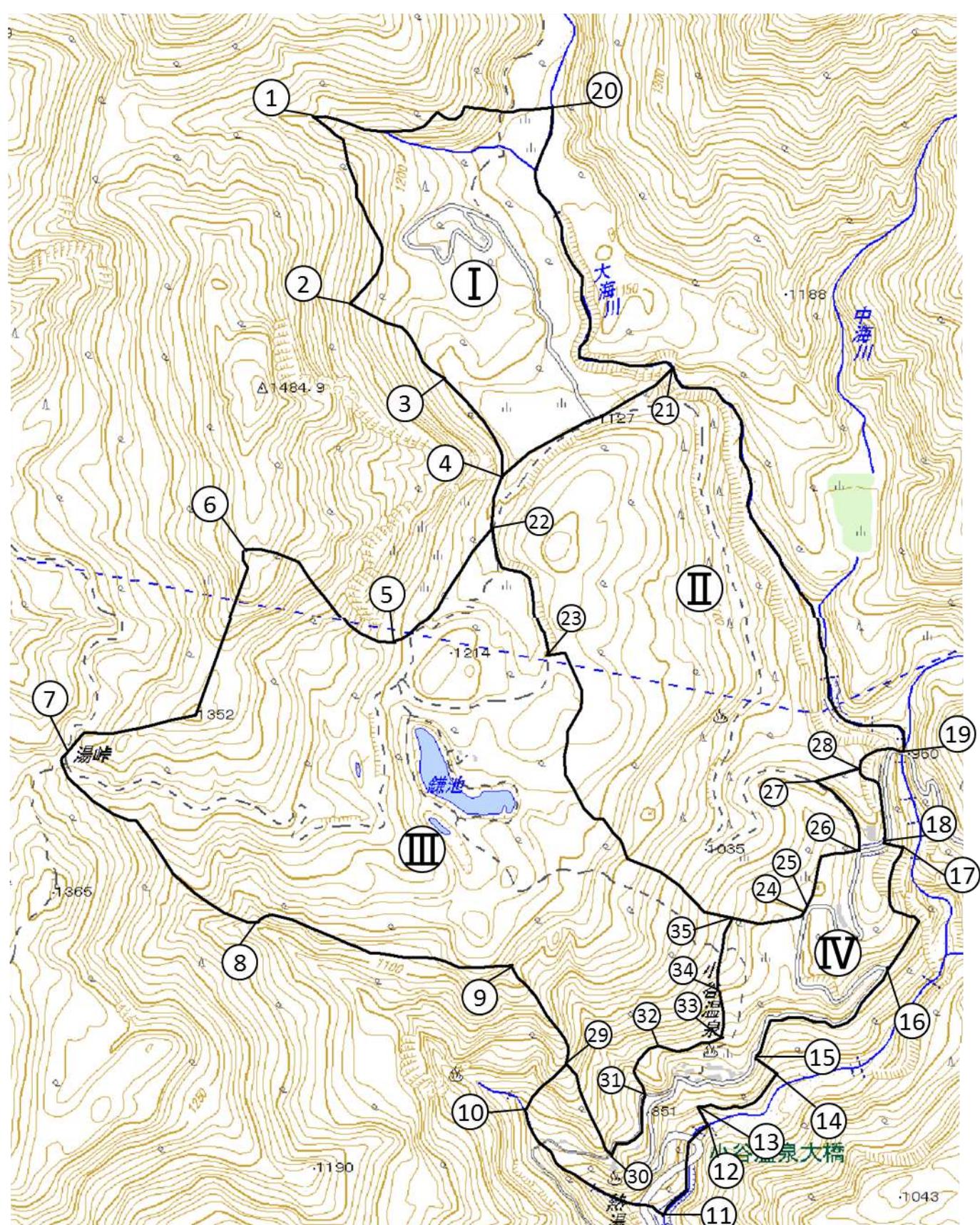
| 番号 | 名 称 | 区 域 | 計画目標 | 整備 計画区 及び基盤施設 | 整 備 方 針 | 面積(ha) |
|-------|------|----------------------|--|---|---|--|
| 5 | 小谷温泉 | 長野県北安曇郡小谷村 字中土の一部 | 当地区は雨飾山、金山等の南麓の山間に位置する小谷温泉郷を中心とした滞在拠点である。温泉場の周辺にはブナにモミ、ツガ等が混在する針広混交の自然林や二次林が広がっている。 この恵まれた自然環境を活かし、主に温泉・登山利用をはじめ、自然探勝及び初・中級向けのスキー利用の場となるよう施設を計画するものとする。 | 大海川整備計画区 カンバ平整備計画区 鎌池整備計画区 小谷温泉整備計画区 道路（歩道） | 野外宿泊等を楽しむための計画区である。滞在型の自然とのふれあいを促進するために、オートキャンプも可能な野営場の整備を図るとともに、自然探勝路、休憩所等の整備を図る。 自然探勝及びスキーを楽しむための計画区である。樹林を散策するための自然探勝路等の整備をはかるとともに、初・中級者のための小規模なスキー場等の整備を図る。 主に鎌池周辺の自然探勝を行うための計画区である。駐車場を備えた園地等の整備を図るとともに、自然探勝路の整備を図る。 湯治及び温泉浴利用を行うための計画区である。湯治場の雰囲気を残す既存温泉旅館を適切に維持管理しつつ、施設の整備を図るとともに、園地、休憩所等の整備を図る。 登山道との連携に留意し、地区内を有機的に連絡する歩道の整備を図る。 | 38.4 87.0 118.5 31.1 — |
| 面 積 計 | | | | | | 国 公 私 |
| | | | | | | — 248.0 27.0 |
| | | | | | | 275.0 |

上信越高原国立公園西部地域(名称未定)
利用施設設計画図(集団施設地区区域図)

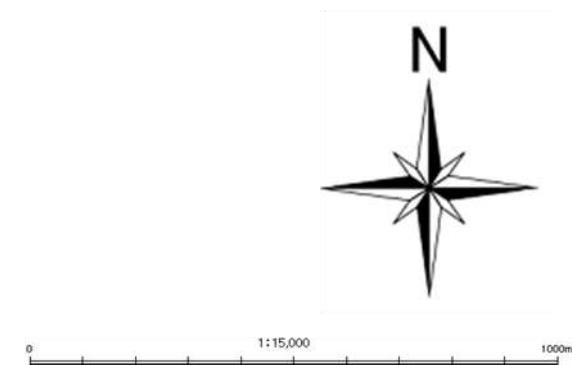
小谷温泉集団施設地区

| 区 域 | |
|-----|----------------------|
| ①-② | 地類界(斜面と平坦地) |
| ②-③ | 沢 界 |
| ③-④ | 地類界(斜面と平坦地) |
| ④-⑤ | 沢 界 |
| ⑤-⑥ | 稜 線 界 |
| ⑥-⑦ | 土地所有界(林野庁と小谷村) |
| ⑦-⑧ | 沢 界 |
| ⑧-⑨ | 道 路 敷 (含) 界 |
| ⑨-⑩ | 稜 線 界 |
| ⑩-⑪ | 沢 界 |
| ⑪-⑫ | 河 川 敷 (除) 界 |
| ⑫-⑬ | 沢 界 |
| ⑬-⑭ | 道 路 中 心 線 より 50m 線 界 |
| ⑭-⑮ | 沢 界 |
| ⑮-⑯ | 道 路 敷 (含) 界 |
| ⑯-⑰ | 小 班 界 |
| ⑰-⑱ | 図 上 確 定 界 |
| ⑱-⑲ | 小 班 界 |
| ⑲-⑳ | 河 川 中 心 線 界 |
| ⑳-㉑ | 土地所有界(林野庁と小谷村) |

| 地 割 | |
|-----|-----------------------|
| ㉑-㉔ | 林 班 界 |
| ㉒-㉓ | 道 路 敷 (除) 界 |
| ㉓-㉔ | 稜 線 界 |
| ㉔-㉕ | 図 上 確 定 界 |
| ㉕-㉖ | 林 班 界 |
| ㉖-㉗ | 道 路 敷 (含) 界 |
| ㉗-㉘ | 道 路 中 心 線 より 200m 線 界 |
| ㉙-㉚ | 稜 線 界 |
| ㉚-㉛ | 道 路 敷 (含) 界 |
| ㉛-㉜ | 沢 界 |
| ㉜-㉝ | 道 路 中 心 線 より 100m 線 界 |
| ㉝-㉞ | 稜 線 界 |
| ㉞-㉟ | 道 路 中 心 線 より 200m 線 界 |



| 凡 例 | |
|-----|-----------|
| Ⓐ | 大海川整備計画区 |
| Ⓑ | カンバ平整備計画区 |
| Ⓒ | 鎌池整備計画区 |
| Ⓓ | 小谷温泉整備計画区 |



(イ) 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 16 : 単独施設表)

| 番号 | 種類 | 位置 | 整備方針 |
|----|------|---------------|--|
| 1 | 宿舎 | 新潟県糸魚川市（笹倉温泉） | 湯治及び登山利用者のための宿舎を整備する。 |
| 2 | 園地 | 新潟県糸魚川市（火打山川） | 自然散策、山岳景観の展望利用のための園地を整備する。 |
| 3 | 宿舎 | 新潟県糸魚川市（梶山新湯） | 湯治及び登山利用者のための宿舎を整備する。 |
| 4 | 宿舎 | 新潟県妙高市（横根山） | 高原の保養地利用者のための宿舎を整備する。 |
| 5 | スキー場 | 新潟県妙高市（五最杉） | 初中級者用のスキー場として整備する。 |
| 6 | ゴルフ場 | 新潟県妙高市（五最杉） | 既存のゴルフ場を維持する。 |
| 7 | 避難小屋 | 新潟県妙高市（富士見峠） | 富士見峠周辺は、妙高連峰縦走線道路（歩道）の中間地点に位置しており、登山者の最低限の安全を確保する避難施設として避難小屋を整備する。 |
| 8 | 宿舎 | 新潟県妙高市（高谷池） | 火打山等の登山者のため、小規模な山小屋を整備する。 |
| 9 | 野営場 | 新潟県妙高市（高谷池） | 火打山登山や高層湿原散策の利用拠点として、自然とのふれあい利用者のための野営場を整備する。 |
| 10 | 宿舎 | 新潟県妙高市（黒沢池） | 登山利用者のための小規模な山小屋を整備する。 |
| 11 | 野営場 | 新潟県妙高市（黒沢池） | 妙高山登山や高層湿原散策の利用拠点として、自然とのふれあい利用者のための野営場を整備する。 |
| 12 | 園地 | 新潟県妙高市（関温泉） | 温泉保養、スキー利用者等のための園地を整備する。 |
| 13 | 宿舎 | 新潟県妙高市（関温泉） | 温泉保養、スキー利用者等のための宿舎を整備する。 |

| 番号 | 種類 | 位置 | 整備方針 |
|----|------|---------------|--|
| 14 | スキー場 | 新潟県妙高市（関温泉） | 初中級者用のスキー場として整備する。 |
| 15 | 園地 | 新潟県妙高市（燕温泉） | 温泉保養、スキー利用者等のための園地として整備する。 |
| 16 | 宿舎 | 新潟県妙高市（燕温泉） | 温泉保養、スキー利用者等のための宿舎を整備する。 |
| 17 | スキー場 | 新潟県妙高市（燕温泉） | 中上級者用の山間スキー場として整備する。 |
| 18 | 園地 | 新潟県妙高市（赤倉） | 散策及び休憩のための園地として整備する。 |
| 19 | 宿舎 | 新潟県妙高市（赤倉） | スキー利用及び高原の保養のための宿舎を整備する。 |
| 20 | スキー場 | 新潟県妙高市（赤倉） | 初級から中級までの総合的なスキー場として整備するが、大規模な拡張は行わない。 |
| 21 | 駐車場 | 新潟県妙高市（赤倉） | 温泉及びスキー利用者のための駐車場を整備する。 |
| 22 | ゴルフ場 | 新潟県妙高市（赤倉） | 既存のゴルフ場を維持する。 |
| 23 | 避難小屋 | 新潟県妙高市（南地獄谷） | 登山者のための避難小屋として整備する。 |
| 24 | 宿舎 | 新潟県妙高市（池の平） | スキー利用及び保養のための宿舎を整備する。 |
| 25 | 運動場 | 新潟県妙高市（池の平） | 公園利用者のための運動施設を整備する。 |
| 26 | スキー場 | 新潟県妙高市（池の平） | ダケカンバ、ブナ林の中に林間コースを整備し、下部にはゲレンデを整備する。 |
| 27 | 園地 | 新潟県妙高市（赤倉山南麓） | 自然散策、山岳景観の展望利用のための園地を整備する。 |
| 28 | 宿舎 | 新潟県妙高市（杉野沢） | スキー利用のための宿舎を整備する。 |
| 29 | スキー場 | 新潟県妙高市（杉野沢） | 初級から上級までの総合的なスキー場として整備する。 |
| 30 | 園地 | 新潟県妙高市（笹ヶ峰湖） | 笹ヶ峰湖探勝利用者のための園地を整備する。 |

| 番号 | 種類 | 位置 | 整備方針 |
|----|------|-------------------|---------------------------------|
| 31 | 園地 | 新潟県妙高市（笹ヶ峰東） | 散策、休憩のための園地として整備する。 |
| 32 | 野営場 | 長野県長野市（戸隠牧場） | 青少年を中心とした野外活動の場として整備する。 |
| 33 | 乗馬施設 | 長野県長野市（戸隠牧場） | 戸隠牧場を訪れる利用者の利用に供するための馬場等を整備する。 |
| 34 | 駐車場 | 長野県長野市（戸隠牧場） | 戸隠牧場周辺の自然探勝のための駐車場を整備する。 |
| 35 | 駐車場 | 長野県長野市（奥社入口） | 奥社地区の利用者のための駐車場を整備する。 |
| 36 | 植物園 | 長野県長野市（戸隠森林植物園） | 森林探勝のための植物園を維持する。 |
| 37 | スキー場 | 長野県長野市（怪無山） | 林間コース及び初級者上級者までを対象としたゲレンデを整備する。 |
| 38 | 園地 | 長野県長野市（鏡池） | 自然探勝及び水辺利用者のための園地として整備する。 |
| 39 | スキー場 | 長野県長野市（飯綱山南麓） | 初中級者用のスキー場として整備する。 |
| 40 | 園地 | 長野県長野市（一の鳥居） | ピクニック園地として整備する。 |
| 41 | 園地 | 長野県長野市（飯綱原） | 自然探勝、休憩、展望のための園地を整備する。 |
| 42 | スキー場 | 長野県上水内郡信濃町（黒姫山東麓） | 初中級者用のゲレンデ及び林間スキー場を整備する。 |
| 43 | 園地 | 長野県上水内郡信濃町（菅川） | 野尻湖の探勝及び水辺利用者のための園地として整備する。 |
| 44 | 宿舎 | 長野県上水内郡信濃町（菅川） | 野尻湖探利用者のための宿舎を整備する。 |
| 45 | 野営場 | 長野県上水内郡信濃町（菅川） | 野尻湖探勝利用者のための小規模な野営場を整備する。 |
| 46 | 宿舎 | 長野県上水内郡信濃町（松ヶ崎） | 野尻湖東部の宿泊基地として、小規模な宿舎を整備する。 |
| 47 | 宿舎 | 長野県上水内郡信濃町（樅ヶ崎） | 野尻湖探勝利用者のための宿舎を整備する。 |

| 番号 | 種類 | 位置 | 整備方針 |
|----|------|-------------------|-----------------------------|
| 48 | 園地 | 長野県上水内郡信濃町(野尻湖西部) | 野尻湖の探勝及び水辺利用者のための園地として整備する。 |
| 49 | 宿舎 | 長野県上水内郡信濃町(野尻湖西部) | 野尻湖探勝のための宿泊基地として整備する。 |
| 50 | 休憩所 | 長野県上水内郡信濃町(野尻湖西部) | 野尻湖探勝利用者のための休憩所を整備する。 |
| 51 | 野営場 | 長野県上水内郡信濃町(野尻湖西部) | 青少年を中心とした野外活動の場として整備する。 |
| 52 | 舟遊び場 | 長野県上水内郡信濃町(野尻湖西部) | 野尻湖における舟遊びのための施設を整備する。 |
| 53 | 駐車場 | 長野県上水内郡信濃町(野尻湖西部) | 野尻湖探勝利用者のための駐車場を整備する。 |
| 54 | 展望施設 | 長野県上水内郡信濃町(竜宮崎) | 野尻湖と黒姫山を望む展望施設として整備する。 |
| 55 | 園地 | 長野県上水内郡信濃町(砂間ヶ崎) | 自然散策、山岳景観の展望利用のための園地を整備する。 |
| 56 | 園地 | 長野県上水内郡信濃町(古池・種池) | 自然探勝利用者のための園地を整備する。 |
| 57 | 園地 | 長野県上水内郡飯綱町(靈仙寺) | 自然探勝利用者のための園地を整備する。 |
| 58 | 宿舎 | 長野県上水内郡飯綱町(靈仙寺) | 自然探勝及びスキー利用者のための宿舎を整備する。 |
| 59 | スキー場 | 長野県上水内郡飯綱町(靈仙寺) | 初中級者用のスキー場として整備する。 |

(ウ) 道路

a 車道

車道を次のとおりとする。

(表 17 : 道路 (車道) 表)

| 番号 | 路線名 | 区間 | 主要経過地 | 整備方針 |
|----|---------|--|-------------|--|
| 1 | 関山燕線 | 起点－新潟県妙高市（関山・国立公園境界） 終点－新潟県妙高市（燕温泉） | 五最杉 関温泉 | 関山より燕温泉への到達車道として整備する。 |
| 2 | 北赤倉線 | 起点－新潟県妙高市（二俣北・国立公園境界） 終点－新潟県妙高市（赤倉北・国立公園境界） 起点－新潟県妙高市（赤倉北・国立公園境界） 終点－新潟県妙高市（赤倉温泉） | | 赤倉温泉への到達車道として、妙高山の展望を損なわないように整備する。 |
| 3 | 関赤倉線 | 起点－新潟県妙高市（関山・車道分岐点） 終点－新潟県妙高市（赤倉温泉） | | 関温泉と赤倉温泉を結ぶ車道として、冬期間のスキー利用に支障の無いよう整備する。 |
| 4 | 燕赤倉線 | 起点－新潟県妙高市（燕温泉） 終点－新潟県妙高市（赤倉温泉） | 関見峠 | 燕温泉と赤倉温泉を結ぶ車道として、冬期間のスキー利用に支障の無いよう整備する。また、関見峠路傍駐車場を設ける。 |
| 5 | 赤倉池の平線 | 起点－新潟県妙高市（池の平南・国立公園境界） 起点－新潟県妙高市（池の平） 終点－新潟県妙高市（赤倉温泉） | 新赤倉 いもり池 | 池の平より赤倉温泉への到達車道として、妙高山の展望を損なわないように整備する。 |
| 6 | 杉野沢笹ヶ峰線 | 起点－新潟県妙高市（杉野沢・国立公園境界） 終点－新潟県妙高市（笹ヶ峰集団施設地区） | 五八木 | 杉野沢より笹ヶ峰集団施設地区への到達車道及び小谷温泉方面との連絡車道の一部として整備する。 野尻湖方面の展望地には路傍駐車場を付帯させる。 |
| 7 | 笹ヶ峰小谷線 | 起点－新潟県妙高市（笹ヶ峰集団施設地区） 終点－長野県北安曇野郡小谷村（小谷温泉・国立公園境界） | 乙見山峠 | 笹ヶ峰集団施設地区と小谷温泉集団施設地区を結ぶ車道として整備する。 |
| 8 | 戸隠高原線 | 起点－長野県長野市（宝光社・国立公園境界） 終点－長野県上水内郡信濃町（柏原・国立公園境界） | 中社 奥社入口 | 戸隠と黒姫山、野尻湖方面とを結ぶ車道として整備し、戸隠連峰の展望地点には駐車場を付帯させる。 |
| 9 | 戸隠越水線 | 起点－長野県長野市（奥社入口） 終点－長野県長野市（戸隠中社） | | 怪無山スキー場等への到達車道として整備する。 |
| 10 | 鏡池線 | 起点－長野県長野市（中社） 終点－長野県長野市（宝光社） | | 鏡池の到達道路として整備する。 |
| 11 | 戸隠線 | 起点－長野県長野市（麓原・国立公園境界） 終点－長野県長野市（諸沢・国立公園境界） | | 戸隠地区への到達車道として整備する。 |
| 12 | 小谷温泉湯峠線 | 起点－長野県北安曇郡小谷村（峠線・国立公園境界） 終点－長野県北安曇郡小谷村（小谷温泉） | 鎌池 | 小谷温泉への到達車道として整備し、鎌池及び湯峠には駐車場を付帯させる。 |
| 13 | 野尻湖周廻線 | 起点－長野県上水内郡信濃町（栃原） 終点－長野県上水内郡信濃町（栃原） 終点－長野県上水内郡信濃町（砂間・車道合流点） | | 野尻湖を周遊するための車道として整備し、途中には、駐車場、展望施設等を付帯させる。 |

b 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 18 : 道路 (歩道) 表)

| 番号 | 路線名 | 区間 | 主要経過地 | 整備方針 |
|----|-----------|--|-------------------------|--|
| 1 | 鋸岳雨飾山線 | 起点－新潟県糸魚川市（鬼ヶ面山・国立公園境界） 終点－新潟県糸魚川市（黒沢峰西・歩道合流点） | 鋸岳 | 鬼ヶ面山から雨飾山への登山道として整備する。 |
| 2 | 中部北陸自然歩道線 | 起点－新潟県妙高市（横根山東・歩道合流点） 終点－新潟県妙高市（池の平南・国立公園境界） 起点－長野県長野市（飯縄原・国立公園境界） 終点－長野県長野市（越水ヶ原歩道合流・歩道合流点） 終点－新潟県妙高市（笛ヶ峰集団施設地区） 起点－長野県上水内郡信濃町（苗名滝下・国立公園境界） 終点－長野県北安曇郡小谷村（熱湯・国立公園境界） 起点－新潟県妙高市（苗名滝下・国立公園境界） 終点－新潟県妙高市（苗名滝下・国立公園境界） 起点－長野県上水内郡信濃町（野尻湖西部・国立公園境界） 起点－長野県上水内郡信濃町（歩道合流点） | | 国立公園全体の歩く利用に配慮した広域的な計画として、中部北陸自然歩道を整備する。 |
| 3 | 藤巻山線 | 起点－新潟県妙高市（関山） 終点－新潟県妙高市（関山） | | 藤巻山への登山道として整備する。 |
| 4 | 神奈山線 | 起点－新潟県妙高市（関温泉） 終点－新潟県妙高市（黒沢池ヒュッテ・歩道合流点） 終点－新潟県妙高市（大倉池・歩道合流点） | 神奈山 | 関温泉より神奈山を経て妙高連峰縦走線への到達登山道として整備する。 |
| 5 | 妙高連峰縦走線 | 起点－新潟県妙高市（燕温泉） 終点－新潟県糸魚川市（梶山新湯） | 妙高山 火打山 金山 雨飾山 | 妙高連峰の縦走登山道として整備し、黒沢池、高谷池、天狗の庭等の湿原植生の保護を図る。 |
| 6 | 大倉池線 | 起点－新潟県妙高市（燕温泉） 終点－新潟県妙高市（光明滝・歩道合流点） 終点－新潟県妙高市（長助池南・歩道合流点） | 大倉池 長助池 | 燕温泉より妙高山への登山道として整備し、長助池、大倉池の湿原植生の保護を図る。 |
| 7 | 富士見平黒沢池線 | 起点－新潟県妙高市（富士見平・歩道分岐点） 終点－新潟県妙高市（黒沢池ヒュッテ・歩道合流点） | 黒沢池 | 富士見平と黒沢池を結ぶ探勝歩道として整備する。 |
| 8 | 赤倉温泉妙高山線 | 起点－新潟県妙高市（赤倉温泉） 終点－新潟県妙高市（天狗堂・歩道合流点） | | 赤倉温泉から妙高山への登山道として整備する。 |

| 番号 | 路線名 | 区間 | 主要経過地 | 整備方針 |
|----|-----------|---|--------------|-------------------------------------|
| 9 | 池の平赤倉山線 | 起点－新潟県妙高市（池の平） 終点－新潟県妙高市（大谷ヒュッテ・歩道合流点） | 大谷ヒュッテ | 池の平から妙高山への登山道として整備する。 |
| 10 | 笹ヶ峰笹倉温泉線 | 起点－新潟県妙高市（杉野沢橋） 終点－新潟県糸魚川市（笹倉温泉） | 富士見峠 | 笹ヶ峰と笹倉温泉を結ぶ登山道として整備する。 |
| 11 | ヒコサの滝笹ヶ峰線 | 起点－新潟県妙高市（杉野沢橋） 終点－新潟県妙高市（奥笹ヶ峰・車道合流点） 終点－新潟県妙高市（笹ヶ峰・車道合流点） | ヒコサの滝 笹ヶ峰 | ヒコサの滝及び笹ヶ峰への自然探勝歩道として整備する。 |
| 12 | 笹ヶ峰高谷池線 | 起点－新潟県妙高市（笹ヶ峰集団施設地区） 終点－新潟県妙高市（高谷池・歩道合流点） | 富士見平 | 笹ヶ峰集団施設地区より妙高連峰縦走線への到達登山道として整備する。 |
| 13 | 笹ヶ峰探勝線 | 起点－新潟県妙高市（笹ヶ峰牧場・仙人池） 終点－新潟県妙高市（笹ヶ峰高谷池線・歩道合流点） | | 笹ヶ峰集団施設地区周辺の探勝歩道として整備する。 |
| 14 | 戸隠連峰縦走線 | 起点－長野県長野市（八方睨） 終点－長野県長野市（乙妻山） | 戸隠山 高妻山 | 戸隠山から高妻山への縦走登山道として整備する。 |
| 15 | 戸隠牧場一不動線 | 終点－長野県長野市（戸隠牧場） 起点－長野県長野市（一不動・歩道合流点） | | 戸隠牧場より戸隠連峰縦走線への到達歩道として整備する。 |
| 16 | 弥勒新道線 | 起点－長野県長野市（戸隠牧場・歩道合流点） 終点－長野県長野市（一不動・歩道分岐点） | | 戸隠牧場から戸隠山又は高妻山への到達登山道の一部として整備する。 |
| 17 | 戸隠牧場一の鳥居線 | 起点－長野県長野市（戸隠牧場） 終点－長野県長野市（飯綱山山頂・歩道合流点） 起点－長野県長野市（飯綱神社・歩道分岐点） 終点－長野県長野市（一の鳥居） | 瑪瑙山 | 飯綱山への登山道として整備する。 |
| 18 | 戸隠牧場隨神門線 | 起点－長野県長野市（戸隠牧場・歩道分岐点） 終点－長野県長野市（隨神門・歩道合流点） | | 戸隠牧場と奥社参道隨神門を結ぶ自然探勝路として整備する。 |
| 19 | 戸隠奥社線 | 起点－長野県長野市（戸隠奥社入口） 終点－長野県長野市（戸隠奥社） | 戸隠神社 | 戸隠奥社入口から奥社へと至る探勝歩道として整備する。 |
| 20 | 戸隠中社隨神門線 | 起点－長野県長野市（戸隠集団施設地区） 終点－長野県長野市（隨神門・歩道合流点） | 鏡池 | 戸隠集団施設地区から、鏡池、隨神門へと至る探勝歩道として整備する。 |
| 21 | 越水瑪瑙山線 | 起点－長野県長野市（戸隠集団施設地区） 終点－長野県長野市（瑪瑙山・歩道合流点） | | 戸隠越水より瑪瑙山への登山道として整備する。 |
| 22 | 荒倉線 | 起点－長野県長野市（紅葉橋） 終点－長野県長野市（荒倉キャンプ場・国立公園境界） | | 伝説の鬼女紅葉を訪ねる探勝路として整備する。 |
| 23 | 小谷温泉雨飾山線 | 起点－長野県北安曇郡小谷村（小谷温泉集団施設地区） 終点－長野県北安曇郡小谷村（雨飾山） | | 小谷温泉集団施設地区より雨飾山への到達登山道として整備する。 |
| 24 | 小谷温泉金山線 | 起点－長野県北安曇郡小谷村（小谷温泉・歩道合流点） 終点－長野県北安曇郡小谷村（金山・歩道合流点） | 天狗原山 | 小谷温泉より天狗原山を経て妙高連峰縦走線への到達登山道として整備する。 |

| 番号 | 路線名 | 区間 | 主要経過地 | 整備方針 |
|----|----------|--|------------|------------------------------|
| 25 | 大渚山線 | 起点－長野県北安曇郡小谷村（小谷温泉集団施設地区） 終点－長野県北安曇郡小谷村（大渚山・国立公園境界） | | 小谷温泉集団施設地区から大渚山への登山道として整備する。 |
| 26 | 天狗原奥西山線 | 起点－長野県北安曇郡小谷村（天狗原山・歩道分岐点） 終点－長野県北安曇郡小谷村（奥西山・国立公園境界） | 乙見峠 堂津岳 | 妙高連峰から奥西山への縦走登山道として整備する。 |
| 27 | 黒姫山小泉山線 | 起点－長野県上水内郡信濃町（黒姫山・車道分岐点） 終点－長野県上水内郡信濃町（黒姫高原・国立公園境界） | 黒姫山 | 黒姫高原から黒姫山への登山道として整備する。 |
| 28 | 黒姫山新道線 | 起点－長野県上水内郡信濃町（黒姫山・歩道分岐点） 終点－長野県上水内郡信濃町（大ダルミ下・歩道合流点） | 黒姫山 | 黒姫山への登山道として整備する。 |
| 29 | 黒姫山線 | 起点－長野県上水内郡信濃町（柏原・国立公園境界） 終点－長野県長野市（大ダルミ・歩道合流点） | 黒姫山 | 黒姫山への登山道として整備する。 |
| 30 | 靈仙寺戸隠中社線 | 起点－長野県上水内郡飯綱町（靈仙寺・国立公園境界） 終点－長野県長野市（戸隠集団施設地区） | 飯綱山 | 飯綱山への登山道として整備する。 |

(エ) 運輸施設

運輸施設を次のとおりとする。

(表 19 : 運輸施設表)

| 番号 | 路線名 | 種類 | 区間 | 主要経過地 | 整備方針 |
|----|---------|--------|---|-------|----------------------------|
| 1 | 妙高山麓赤倉線 | 索道運送施設 | 起点－新潟県妙高市（田切） 終点－新潟県妙高市（関山） | | 自然散策、山岳景観の展望利用のための索道を整備する。 |
| 2 | 赤倉山南麓線 | 索道運送施設 | 起点－新潟県妙高市（杉野沢・国立公園境界） 終点－新潟県妙高市（赤倉山南麓） | | 自然散策、山岳景観の展望利用のための索道を整備する。 |
| 3 | 黒姫山東麓線 | 索道運送施設 | 起点－長野県上水内郡信濃町（国立公園境界） 終点－長野県上水内郡信濃町（黒姫山東麓） | | 自然散策、野尻湖の展望利用のための索道を整備する。 |
| 4 | | 係留施設 | 長野県上水内郡信濃町（野尻湖） | | 野尻湖探勝のための係留施設（桟橋）を整備する。 |

